

令和 6 年度保健事業報告

令和 7 年 2 月 7 日

目 次

1	母子保健事業	1
(1)	母子保健事業体系図	2
(2)	事業一覧	3
(3)	個別事業説明（事業一覧から抜粋）	
①	利用者支援事業	6
②	伴走型相談支援	8
③	乳幼児健診	9
2	予防接種事業	11
(1)	事業一覧	12
(2)	予防接種別実績（事業一覧から抜粋）	
①	高齢者インフルエンザ（11 月末現在）	14
②	高齢者新型コロナウイルス感染症（11 月末現在）	14
③	大人の風しん（風しんの追加的対策）（令和元年度～令和 6 年 9 月）	15
④	子どもインフルエンザ（11 月末現在）	15
3	健康増進事業	16
(1)	事業一覧	17
(2)	個別がん検診	22
(3)	集団がん検診	23
(4)	検診別実績等の詳細	
①	胃がん検診	24
②	大腸がん検診	26
③	肺がん検診	27
④	前立腺がん検診	28
⑤	子宮がん検診	29
⑥	乳がん検診	30
⑦	歯と口腔の健診	31
⑧	骨粗しょう症検診	32
4	自殺対策事業	33
(1)	事業一覧	34

参考資料 1 健康づくり計画、歯と口腔保健計画及び食育推進計画に関する行政の取組

参考資料 2 保健事業の過去 5 年間の実績（令和元年度～令和 5 年度）

1 母子保健事業

令和4年の改正児童福祉法の規定に基づき、本市では、令和6年度から子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の設立の意義や機能を維持し、全ての妊婦、子育て世帯、子どもに対する一体的な相談支援機能を有する「こども家庭センター」を設置しました。こども家庭センターでは、健康推進課で行ってきた「子育て世代包括支援センター」に関する事業及び子ども福祉課で行ってきた「子ども家庭総合支援拠点」に関する事業をこれまでどおり実施しながら、母子保健機能と児童福祉機能の連携を強化した「利用者支援事業（こども家庭センター型）」を新たに開始しました。

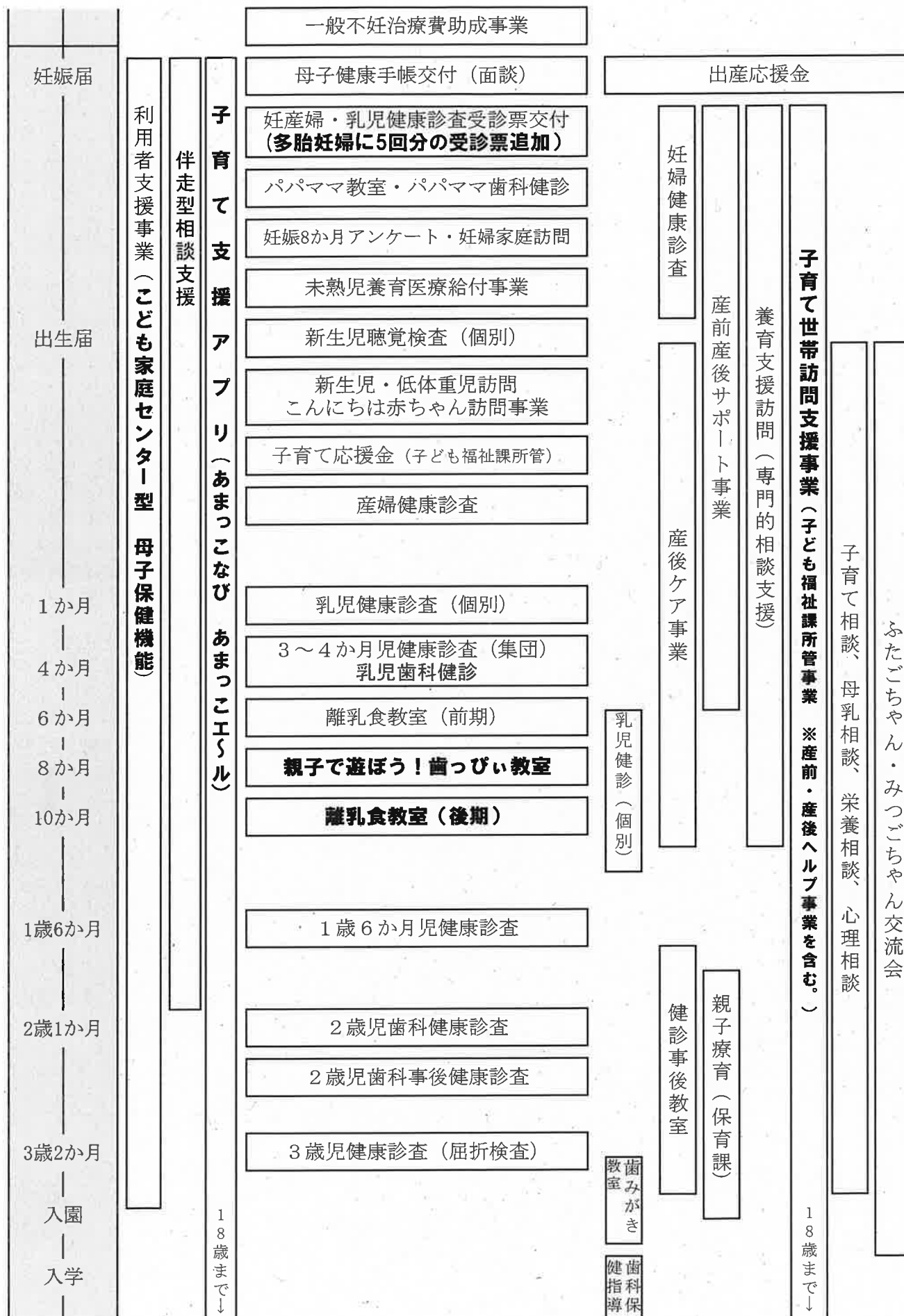
こども家庭センター設置に伴う母子保健機能と児童福祉機能の連携強化に係る業務の見直しとして、令和5年度まで健康推進課で実施していた妊産婦の孤立感を解消し、家事・育児援助を行う「産前・産後ヘルプ事業」を子ども福祉課が所管する、18歳未満の未成年者を養育する家庭（ヤングケアラー等）を対象とする「子育て世帯訪問支援事業」に統合し、対象者を拡大して実施しています。

また、令和6年7月から、子育て支援アプリ「あまっこなび、あまっこエール」を導入し、健康推進課の乳幼児健診の記録、予防接種のスケジュールの自動調整だけではなく、子ども福祉課及び保育課を含めたプッシュ型の通知及び子育て情報を掲載し、妊娠期から子育て世代まで幅広く、更に個々に応じた丁寧な子育て支援及び保護者の利便性の向上を図っています。

その他、妊婦健康診査支援事業では、妊婦健康診査（14回分）と子宮がん検診1回に、多胎妊娠の方を対象に、5回分の健康診査を追加し、その費用を補助しています。また、全ての妊婦及び0歳から2歳の乳幼児を養育する子育て世帯を対象とした伴走型相談支援及び出産・子育て応援金支給事業の一体的事業を子ども福祉課とともに実施しました。

(1) 母子保健事業体系図

※太字は新規事業



(2) 事業一覧

※太字は新規事業

令和6年12月末現在

NO	事業名	実施時期 ・回数	事業内容	令和6年度		令和5年度
				実績 (人)	年度末見込 (人)	実績 (人)
1	母子健康手帳交	随時	手帳の使い方、妊産婦・乳児健診の受診票の利用方法、保健事業の案内、妊娠届出時アンケートの実施、面談(多胎妊婦に対し、5回分の受診票を追加)	434 (双胎5)	555 (双胎7)	576 (多胎7)
2	子育て支援アプリ	随時	子育て支援アプリによる、乳幼児健診の記録、予防接種のスケジュールの自動調整に加え、子ども福祉課及び保育課を含めたプッシュ型の通知や子育て情報を掲載することで、個々に応じた丁寧な子育て支援及び保護者の利便性向上を図る。 令和6年7月から配信	会員数 587 登録数 676	会員数 670 登録数 780	
3	利用者支援事業 (こども家庭センター型)	随時	妊娠期及び子育て期における母子保健や育児に関する相談	429	572	569
		随時	妊産婦や母子が利用できる母子保健サービス等の選定及び情報提供	429	572	569
		随時	妊産婦を対象とした支援プラン(サポートプラン)の作成	102 (24)	136	186
		12回	要支援検討会(合同ケース会議)	132/9回	176	209/12回
		3回	子育て支援連絡会議(地域資源の開拓)	2回	3回	3回
4	伴走型相談支援	1回	妊娠届出(母子健康手帳交付)時の面談	429	572	569
		1回	妊娠8か月頃までの面談	13	17	8
		1回	生後4か月までの面談	379	505	567
	出産応援金	1回	妊娠届出時のアンケートをもとに面談を実施した妊婦を対象に支給	434	580	586
	※子育て応援金 (子ども福祉課所管)	1回	出生届出後に面談を実施した産婦等を対象に支給	385	600	599
5	パパママ教室	12回	分娩について・沐浴・お父さんの妊婦体験・交流会	174/9回	200	172/12回 (再掲: オンライン形式6/3回)
	パパママ 歯科健康診査	9回	歯科医師の診察・相談・講話	28/7回	36	35/11回 パパママ 歯っぴい教室
6	子育て世帯訪問 支援事業	随時	産前・産後に体調不良等のため、家事又は育児を行うことが困難な世帯(18歳未満の未成年者を養育する家庭)に支援者が訪問し、家事・育児援助を行う ※子ども福祉課所管	9 (189時間)	12 (252時間)	3 (24時間) 産前・産後 ヘルプ事業 (家事・育児援助)

NO	事業名	実施時期 ・回数	事業内容	令和6年度		令和5年度
				実績 (人)	年度末見込 (人)	実績 (人)
7	産前・産後サポート事業	随時	助産師による訪問（母乳相談等）	3	4	13
8	産後ケア事業	随時	保健指導を必要とする産後1年未満の母親とその乳児が一定期間、医療機関に入院し、母体の管理及び生活指導、乳房管理、沐浴や授乳等の育児相談を実施 利用期間の上限：7日	15 (41日)	20 (55日)	9 (35日)
9	ふたごちゃんみつごちゃん交流会	3回	多胎児の母親及び妊婦を対象とした親子遊びや交流会	11/2回	16	12
10	妊産婦乳児健康診査	妊婦 多胎	医療機関において実施する妊婦健康診査（14回・ 多胎妊婦には5回追加 ）、子宮がん検診（1回）、産婦健康診査、乳児健康診査（2回）、新生児聴覚検査（生後4週間）の費用を助成	県内 4,844 県外 158	県内 7,266 県外 211	県内 7,364 県外 258
		産婦		県内 311 県外 28	県内 467 県外 37	県内 542 県外 38
		乳児		県内 611 県外 25	県内 917 県外 33	県内 982 県外 39
		新生児聴覚検査		県内 307 県外 23	県内 461 県外 31	県内 452 県外 29
11	3～4か月児健康診査	28回	生後3～4か月児を対象に予診、身体計測、医師の診察、母乳相談	410 受診率99.5% 21回	539	574 100.2% 29回
12	乳児歯科健診	28回	生後3～4か月児を対象に歯科医師の診察、歯科相談	410 受診率99.5% 21回	539	500 受診率87.3% 29回
13	1歳6か月児健康診査	26回	予診、身体計測、医師・歯科医師の診察、個別指導、心理相談、栄養相談	448 受診率97.6% 20回	585	664 受診率99.0% 28回
14	2歳児歯科健康診査	24回	歯科医師の診察、歯みがき指導、フッ素塗布、個別指導、保健師による保健指導	424 受診率90.8% 18回	575	660 受診率91.5% 26回
15	3歳児健康診査	32回	予診、身体計測、視力・屈折検査、聴力検査、医師・歯科医師の診察、個別指導、心理相談、栄養相談	565 受診率98.4% 25回	717	714 受診率100.1% 30回
16	離乳食教室	前期12回	栄養士による離乳食の話、交流会 前期：生後4～6か月児の保護者 後期：生後8～11か月児の保護者	80/9回	107	124 20回
		後期8回		40/6回	60	
17	親子で遊ぼう！ 歯っぴい教室	10回	生後8か月～11か月の乳児と保護者を対象に歯科衛生士によるむし歯予防・歯の手入れの話、親子遊び、ボランティアによる絵本の読み聞かせ・わらべ歌、交流会	54/7回	78	91/12回 (再掲：オンライン形式44/4回) もぐもぐ歯っぴい教室

NO	事業名		実施時期 ・回数	事業内容	令和6年度		令和5年度	
					実績 (人)	年度末見込 (人)	実績 (人)	
18	子育て相談	育児一般相談	48回	全年齢を対象に身体計測と保健師による個別相談	683/33回	900	976/48回	
19		栄養相談		全年齢を対象に栄養士による離乳食や偏食等についての栄養指導	127/36回	169	188/48回	
20		母乳相談		産婦を対象に助産師による母乳相談及び授乳指導	70/36回	93	108/46回	
21		歯科相談	36回	全年齢を対象に歯科衛生士による歯みがき指導、口腔内全般の個別相談	20/27回	29	42/36回	
22	心理相談		随時	臨床心理士(公認心理師)による子どもの発達に関する個別相談	22/17回	30	38/29回	
23	健診事後教室		48回	発達に遅れのある子ども、育児不安のある保護者等に対し、親子遊びを通しての発達支援、子育ての助言を行う	176/36回	236	370/60回	
24	保育園・幼稚園歯みがき教室		24回	園児及びその保護者に対してブラッシング指導、むし歯予防の話	1,201/16回	1,614/24回	1,035/23回	
25	歯科保健指導		16回	児童、生徒に対して、ブラッシング指導、むし歯・歯肉炎予防等の話	313/11回	437	175/5回	
26	学校保健委員会		随時	生活習慣、ブラッシング指導、むし歯・歯肉炎等についての情報共有及び検討	194/2回	212/3回	33/2回	
				こころの健康づくり(自殺予防対策)、睡眠、食育等についての情報共有及び検討	2回	4回	4回	
27	福祉実践教室		1回	美和高校1年生を対象に妊婦体験や育児体験の実施	20	20		
28	家庭訪問		随時	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問)、養育支援訪問、未熟児、乳幼児健診未受診者・要フォロー児、妊産婦への支援のための訪問	妊婦	7	10	23
					乳児	432	576	617
					幼児	29	39	58
					その他	381	508	602
29	一般不妊治療費助成事業		随時	不妊治療を受けている夫婦(事実婚含む)に対し、ホルモン療法等の一般不妊治療費に要した本人負担額の1/2(50,000円上限)を助成	6	40	35	
30	未熟児養育医療給付事業		随時	入院医療を必要とする未熟児の保護者に対し養育医療費を給付	15	24	15	

(3) 個別事業説明（事業一覧から抜粋）

①利用者支援事業

令和6年度から子育て世代包括支援センターとこども家庭総合支援拠点の設立の意義や機能を維持し、すべての妊婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する「こども家庭センター」を設置し、「利用者支援事業（こども家庭センター型）」を開始しています。子育て支援事業や教育・保育施設、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるよう、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行なうとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行うものであります。

《こども家庭センター型 母子保健機能》

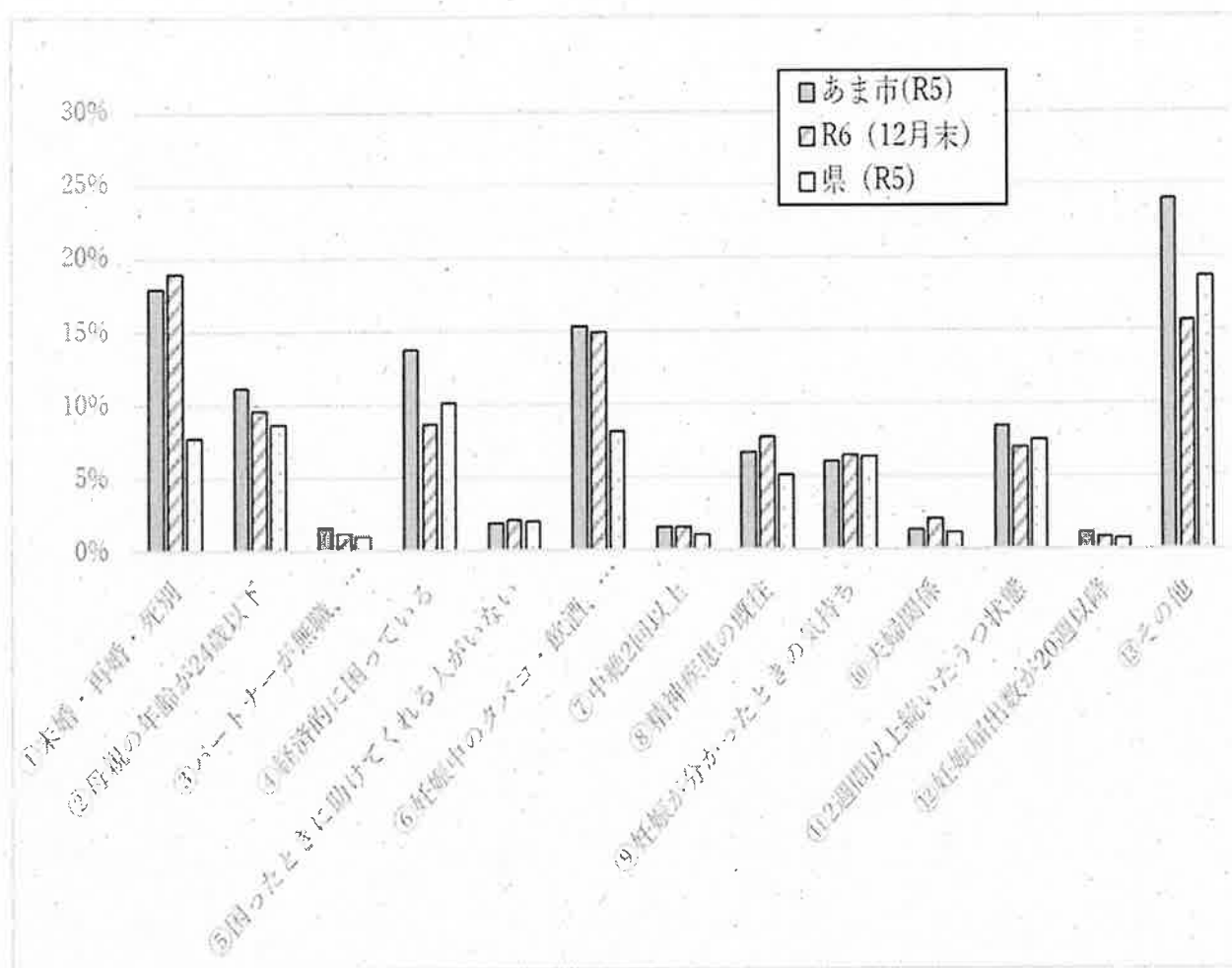
保健センターでは、妊娠の届出時の面談等で得た情報を基に、保健師による、妊娠・出産・育児に関する相談への対応と支援プラン（サポートプラン）の作成により妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制を構築しています。

妊娠届出時の令和5年度のアンケート結果を県平均と比較し、特にあま市が高いのは、「未婚・再婚・死別」が、17.9ポイントで県と比べて10.2ポイント、「経済的に困っている」が13.7ポイントで県と比べて3.6ポイント、「妊娠中のタバコ・飲酒、妊娠前のタバコ」が13.7ポイントで県と比べて7.2ポイント高くなっています。

妊娠届出時の面談等により得た情報を基にスクリーニングした妊婦に関しては、保健センターで定期開催する要支援検討会（合同ケース会議）において、支援方針及び進捗状況の協議を行っています。

妊娠届出時のアンケート結果から（令和6年12月末現在）

項 目	令和6年度 (12月末現在)		令和5年度		県（令和5年度）
	人	率（％）	人	率（％）	率（％）
① 未婚・再婚・死別	81	18.9	102	17.9	7.7
② 母親の年齢が24歳以下	41	9.6	63	11.1	8.7
③ パートナーが無職、一人親の場合は母親が無職	5	1.2	9	1.6	1.0
④ 経済的に困っている	37	8.6	78	13.7	10.1
⑤ 困ったときに助けてくれる人がいない	9	2.1	11	1.9	2.0
⑥ 妊娠中のタバコ・飲酒、妊娠前のタバコ	64	14.9	87	15.3	8.1
⑦ 中絶2回以上	7	1.6	9	1.6	1.1
⑧ 精神疾患の既往	33	7.7	38	6.7	5.1
⑨ 妊娠が分かったときの気持ち	28	6.5	34	6.0	6.4
⑩ 夫婦関係	9	2.1	8	1.4	1.2
⑪ 2週間以上続いたうつ状態	30	7.0	48	8.4	7.5
⑫ 妊娠届出数が20週以降	4	0.9	7	1.2	0.8
⑬ その他	67	15.6	136	23.9	18.6
妊娠届出数	429		569		



要支援検討会（令和6年度合同ケース会議） 協議件数

年度	妊娠届出数	検討数	検討結果		
			ハイリスク妊婦	要支援妊婦	特定妊婦
令和4年度	584件	206件 (35.3%)	10件 (4.9%)	183件 (88.8%)	9件 (4.4%)
令和5年度	569件	209件 (36.7%)	20件 (9.6%)	174件 (83.3%)	11件 (5.3%)
令和6年度 (12月末)	429件	135件 (31.5%)	20件 (14.8%)	109件 (80.7%)	4件 (3.0%)

参加機関：健康推進課保健師、子育てコンシェルジュ、家庭児童相談員、子ども福祉課職員

②伴走型相談支援（令和7年度から妊婦等包括相談支援事業）

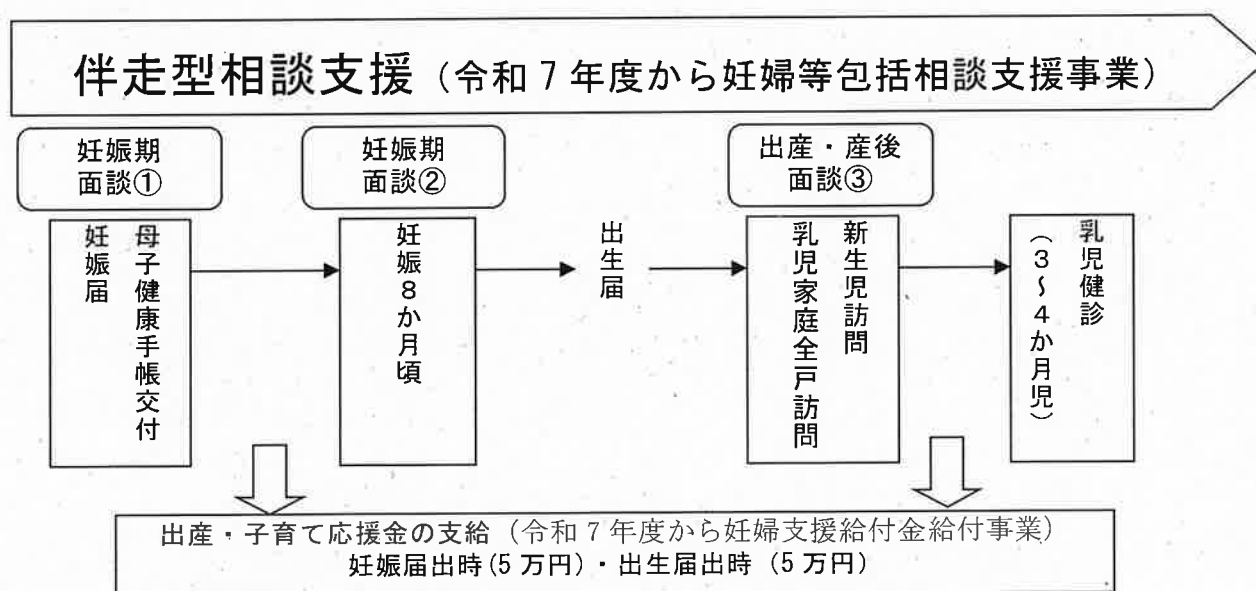
※伴走型相談支援とは

孤立感や不安感を抱く妊婦や子育て家庭が少なくないことから、すべての妊婦・子育て家庭にアンケート及び面談により、相談に応じ、必要な情報提供を行い、サービスにつなぐ支援を行う事業です。

保健センターでは、妊娠届出時の面談と乳児家庭全戸訪問での面談を実施しており、支援の必要な方には、継続的にフォローしています。全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業が実施されることとなり、妊娠8か月頃にもアンケートを送付し、面談を希望される方には面談を実施しています。

また、妊娠届出時と生後4か月頃までに面談を受けると、あま市出産・子育て応援金支給事業実施要領（あま市告示第168号）の規定に基づき、出産・子育て応援金の支給がされています。（令和7年度から妊婦支援給付金給付事業）

妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じる伴走型相談支援を通じて、本人の同意のもと関係機関とも共有することで、これまで以上に効果的な支援を実施していきます。



妊娠期面談②（妊娠8か月頃） 毎月1回（月始め）にアンケートを郵送

	令和5年度	令和6年度（12月末）
郵送数	533人	406人
返信	363人（68.1%）	302人（74.4%）
面接・訪問	12人（2.2%）	14人（3.4%）

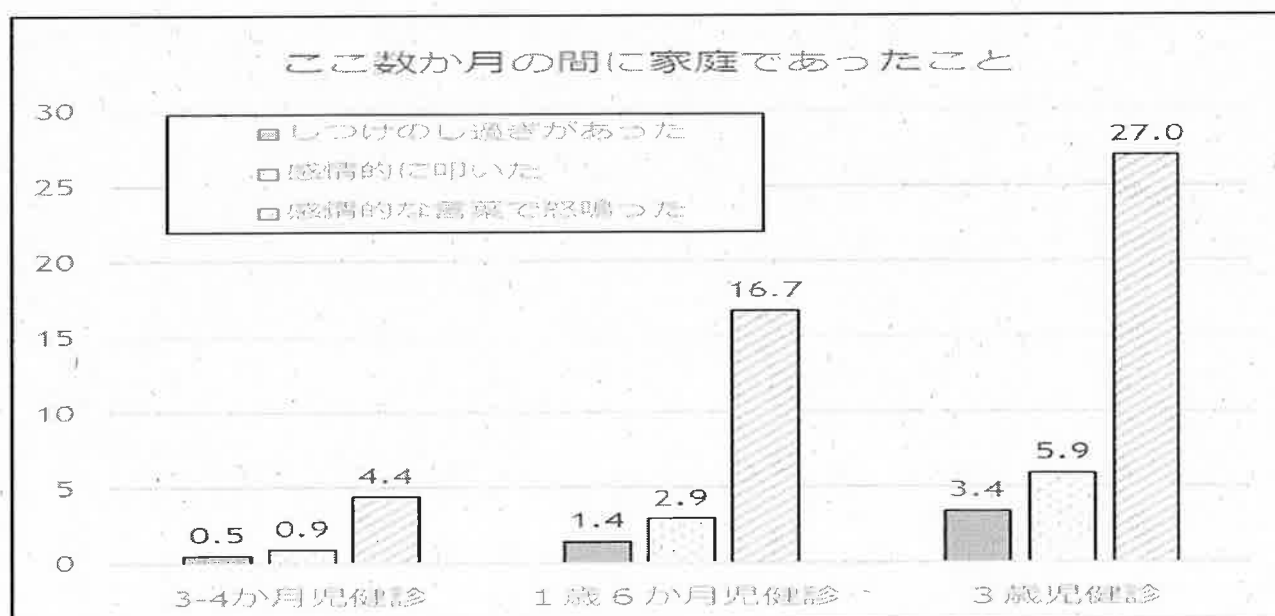
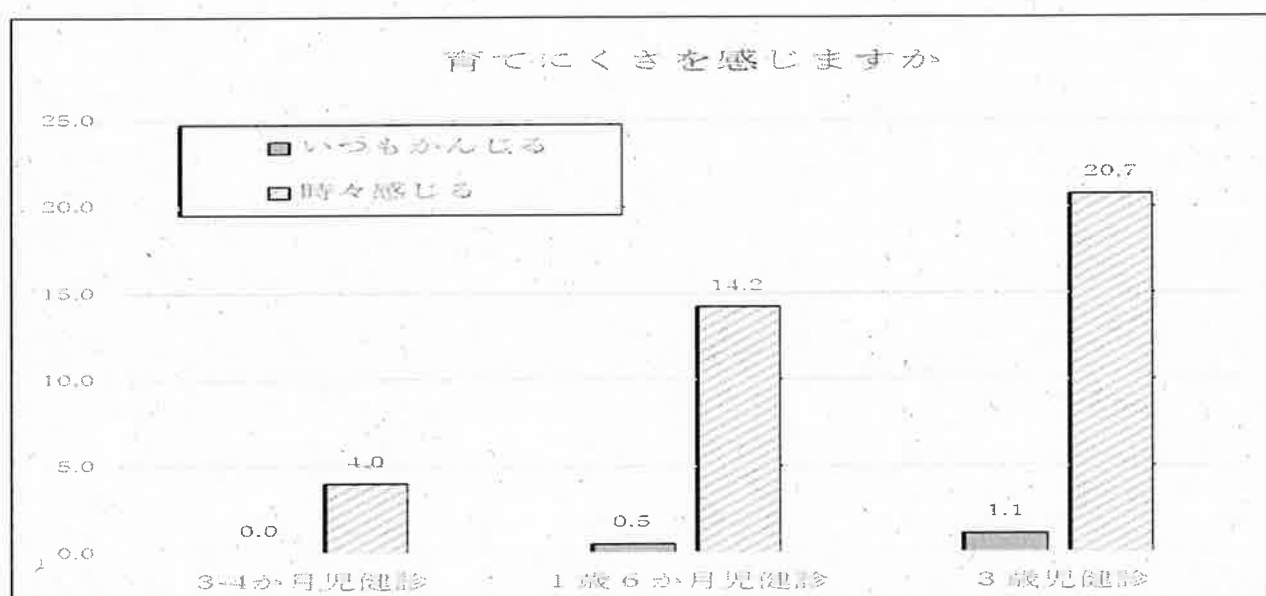
アンケートの返信がない方に対しては、電話により確認

③乳幼児健診

乳幼児健診はすべてのお子さんを対象とする事業であり、受診前には保護者に健診アンケートを記入していただき、育児に対しての現状を把握し、相談に応じています。

令和5年度健診アンケートから、月齢が上がるほど、しつけのし過ぎ、感情的に叩いた、感情的な言葉で怒鳴ったことがある方が増えていることがわかります。

健診未受診児は子どもの虐待につながるリスクが高く、産後うつ状態、閉じこもり等の育児上の問題を抱える保護者や発達の遅れを持つ乳幼児が潜在していることが考えられるため、未受診者に対して、電話や訪問等で状況確認と受診勧奨を行い、必要に応じて子ども福祉課や保育園等に連絡を取り、児の安全確認を行うことにより、全数把握に努めています。



令和5年度健診結果

(医科所見あり)

健 診 疾病項目	乳児健診 (生後3～4か月)			1歳6か月児健診			3歳児健診		
	あま市		県 率	あま市		県 率	あま市		県 率
	数	率		数	率		数	率	
神経系	2	0.4	0.1						
運動発達	12	2.1	1.5	12	3.2	1.4	4	0.9	1.3
精神発達	0	0	0.0	8	2.1	6.7	19	4.4	4.9
感覚器	0	0	0.1	3	0.8	0.4			
循環器	1	0.2	0.7						
消化器	0	0	0.0	6	1.6	0.3			
泌尿生殖器	4	0.7	0.2	6	1.6	0.5			
股関節	9	1.6	5.1						
皮膚	111	19.3	4.2	8	2.1	0.6	8	1.9	0.8

(歯科所見あり)

健 診 う蝕罹患型	1歳6か月児健診			3歳児健診		
	あま市		県 率	あま市		県 率
	数	率		数	率	
01型	315	47.4	45.2	(0型)	(0型)	(0型)
02型	344	51.8	54.2	682	95.5	94.4
A型	5	0.8	0.5	23	3.2	4.5
B型	0	0.0	0.1	8	1.1	1.4
C1型	(C型) 0	(C型) 0	(C型) 0	1	0.1	0.0
C2型				0	0.0	0.2

※県率は暫定数

2 予防接種事業

本市の予防接種事業は、予防接種法（昭和23年法律第68号）（以下「法」という。）第2条第2項でA類疾病と掲げられた疾病及び同条第3項でB類疾病と掲げられた疾病に対して実施される定期接種の他、「子どもインフルエンザ予防接種」や「带状疱疹予防接種」等の任意の予防接種に対する費用助成の一部助成を実施しています。

定期の予防接種では、平成25年6月から積極的勧奨が控えられてきたヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン（子宮頸がんワクチン）接種（以下「HPVワクチン接種」という。）の積極的勧奨が令和4年4月から再開されたことにより、接種対象者の他、キャッチアップ接種として、積極的勧奨が差し控えられてきた期間中に定期接種の対象者であった平成9年度生まれから平成19年度生まれまでの女性に対して、HPVワクチン接種を実施しています。

また、令和6年度より4種混合にヒブを追加した「5種混合」がA類疾病に係る定期の予防接種に、「高齢者新型コロナウイルス感染症」がB類疾病に係る定期の予防接種に追加され実施しています。

なお、法に基づき実施されてきた風しんに対する抗体保有率が低い世代（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ男性）に対する「大人の風しん（風しんの追加的対策）」の抗体検査及び予防接種については今年度で終了となり、令和7年4月から带状疱疹が、法第2条第3項のB類疾病に位置づけられ、高齢者を対象とした定期の予防接種として実施されることから、「带状疱疹予防接種」に対する接種費用の一部助成については、今年度末で廃止となります。

(1) 事業一覧

※太字は新規事業

令和6年12月末現在

NO	種 類	対象年齢・接種回数	令和6年度		令和5年度
			実績 (人)	年度末見込 (人)	実績 (人)
1	ロタウイルス 感 染 症	ロタリックス：生後6週から24週まで・2回 ロタテック：生後6週から32週まで・3回 (ワクチンによって接種時期・回数が異なる)	873	1,260	1,329
2	ヒ 感 染 症	生後2か月から5歳に至るまで (開始年齢によって接種回数が異なる)	596	706	2,310
3	小児の肺炎球 菌 感 染 症	生後2か月から5歳に至るまで (開始年齢によって接種回数が異なる)	1,624	2,272	2,318
4	B 型 肝 炎	1歳に至るまで・3回 (標準的な接種期間 生後2から9か月)	1,181	1,675	1,725
5	5 種 混 合	生後2か月から7歳半まで・4回	1,015	1,261	
6	4 種 混 合	生後2か月から7歳半まで・4回	617	706	2,540
7	不活化ポリオ	生後2か月から7歳半まで・4回	0	0	0
8	B C G	1歳に至るまで・1回 (標準的な接種期間 生後5から8か月)	397	550	588
9	麻しん及び風 し ん 混 合 (M R)	1期(1歳)、2期(5、6歳) ・各1回	1期 386 2期 535	1期 560 2期 690	1期 569 2期 698
10	水 痘	1歳から3歳に至るまで・2回	850	1,114	1,232
11	日 本 脳 炎	3歳から7歳半まで・3回 小学4年生(9歳から13歳未満) 追加接種・1回 ※特例対象者(平成19年4月1日以前生 まれ。ただし、20歳未満)	2,049	2,749	2,848
12	2 種 混 合	小学校6年生(11歳以上13歳未満)・1 回	513	651	622
13	H P V 感 染 症 (子 宮 頸 が ん)	小学6年生から高校1年生相当する年齢の 女性・2～3回	524	800	373
		キャッチアップ対象者(平成9年4月2 日～平成20年4月1日生まれの女性で、 過去にHPVワクチン接種を受けていな い者) ・1～3回	1,660	2,500	425
	HPV感染症に係る 任意接種償還払	HPVワクチンの積極的勧奨の差し控え により予防接種の機会を逃した人の中 で、定期接種の対象年齢を過ぎてHPV ワクチンの任意接種を受けた者・1～3 回	2	3	2

令和6年12月末現在

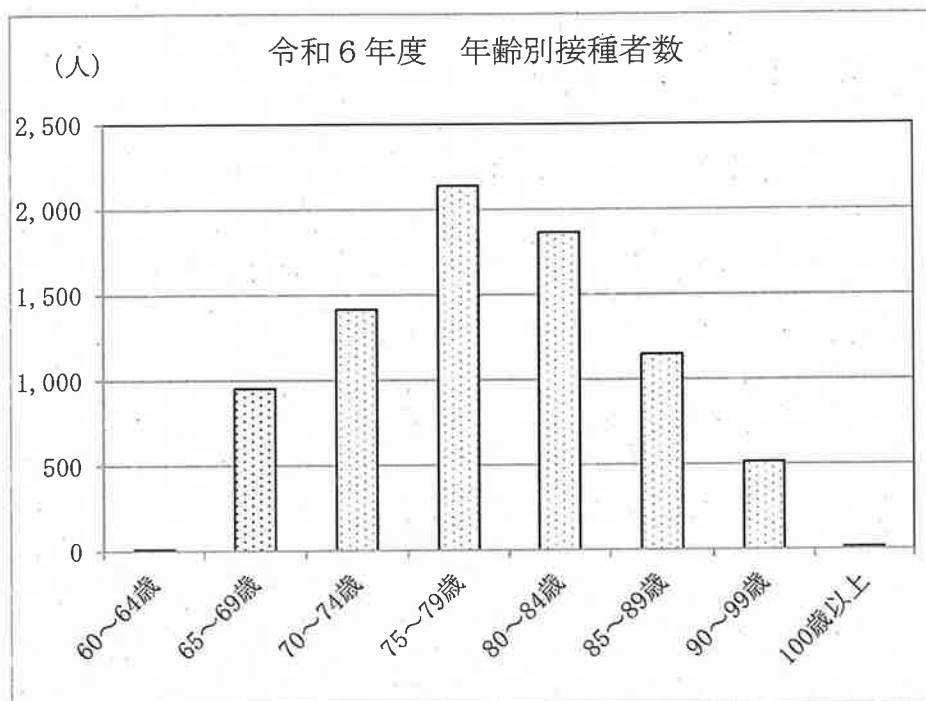
NO	種 類	対象年齢・接種回数	令和6年度		令和5年度
			実績 (人)	年度末見込 (人)	実績 (人)
14	高 齢 者 インフルエンザ	65歳以上及び60から65歳未満の身体障害者手帳内部障害1級程度の者・1回	9,940	10,137	12,016
15	高 齢 者 新型コロナウイルス感染症	65歳以上及び60歳から65歳未満の身体障害者手帳内部障害1級程度の者・1回	1,548	1,650	
16	高齢者の肺炎球菌感染症	65歳の者 及び60歳から65歳未満の身体障害者手帳内部障害1級程度の者・1回	118	214	735
17	大人の風しん (風しんの追加的対策)	抗体保有率の低い世代(昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性)に対し、風しんの抗体検査を実施 抗体検査の結果、抗体が十分でないと確認できた者に対し、予防接種の実施	抗体検査 ※11月末 42 予防接種 ※11月末 8	抗体検査 68 予防接種 14	抗体検査 102 予防接種 13
18	大人の風しん (任意)	妊娠を予定又は希望している女性(妊婦を除く) ただし、風しんの抗体検査を受け、抗体が十分でないと確認でき、過去にあま市風しんワクチン接種事業で助成を受けたことがない者 接種費用一部助成	MR 3 風しん2	MR 4 風しん4	MR 10 風しん1
19	子 ど も インフルエンザ (任意)	平成21年4月2日～平成24年4月1日生 ・1回 平成24年4月2日～令和5年12月31日生 ・2回 接種費用一部助成(市単独事業)	6,603	7,000	7,346
20	特別の理由による 任意接種助成事業 (任意)	骨髄移植手術その他の理由により、免疫を失い、接種済みの定期の予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再度、予防接種を受ける方に対し、予防接種に要する費用の一部を助成 接種日に20歳未満の方 ただし、5種(4種)混合は15歳未満、ヒブは10歳未満、小児の肺炎球菌は6歳未満、BCGは4歳未満の方	10	10	0
21	帯 状 疱 疹 (任意)	50歳以上の方 1人1回 接種費用一部助成(市単独事業)	298	378	816 9月1日から

(2) 予防接種別実績 (事業一覧から抜粋)

①高齢者インフルエンザ (11月末現在)

(単位: 人)

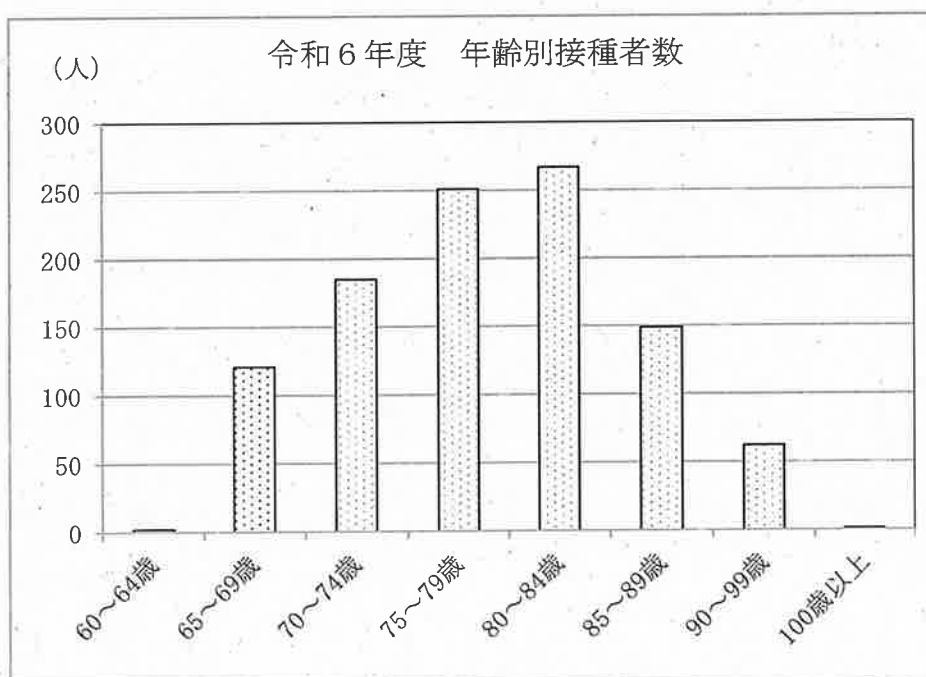
令和6年度 年齢別接種者数	
60～64歳	9
65～69歳	953
70～74歳	1,416
75～79歳	2,140
80～84歳	1,864
85～89歳	1,150
90～99歳	516
100歳以上	14
合 計	8,062



②高齢者新型コロナウイルス感染症 (11月末現在)

(単位: 人)

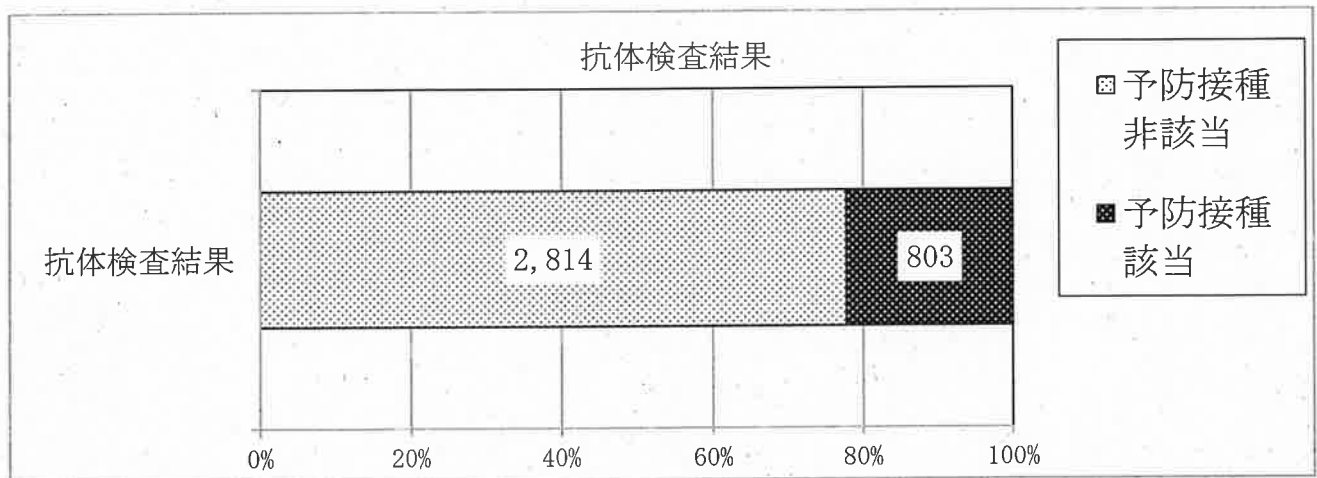
令和6年度 年齢別接種者数	
60～64歳	2
65～69歳	121
70～74歳	185
75～79歳	251
80～84歳	267
85～89歳	149
90～99歳	62
100歳以上	1
合 計	1,038



③大人の風しん（風しんの追加的対策）（令和元年度～令和6年9月）

（単位：人）

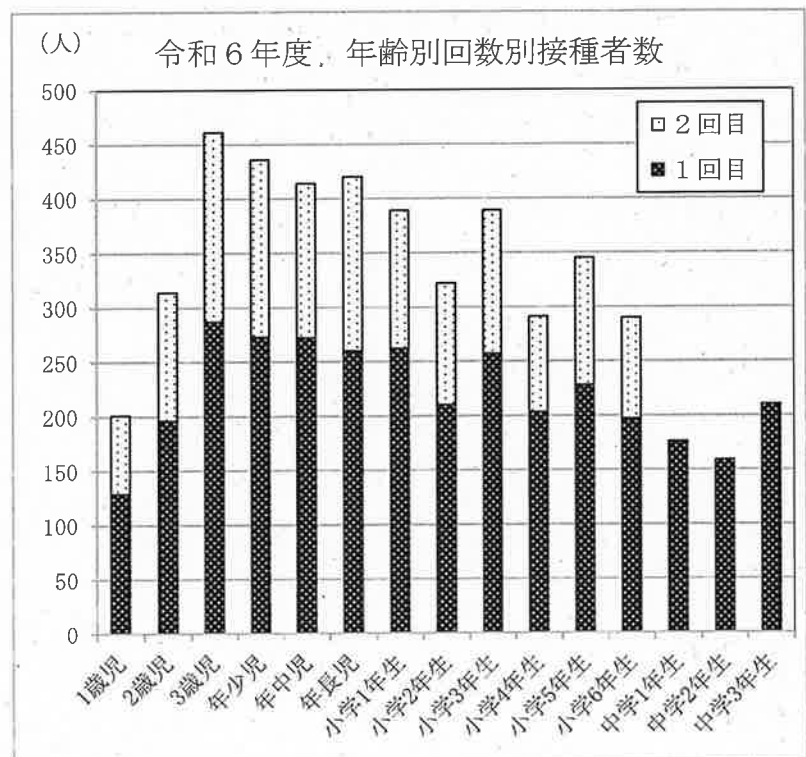
対 象 者	抗体検査 実施者数		抗体検査結果		予防接種 実施者数	
			予防接種 非該当	予防接種 該当		
S37.4.2～S54.4.1生	3,617		2,814	803	715	
12,046	実施率	30.0%	77.8%	22.2%	接種率	89.0%



④子どもインフルエンザ（11月末現在）

（単位：人）

年 齢	1 回 目	2 回 目
1歳児	129	72
2歳児	196	118
3歳児	287	174
年少児	273	163
年中児	272	142
年長児	260	160
小学1年生	262	127
小学2年生	210	112
小学3年生	257	132
小学4年生	203	88
小学5年生	228	117
小学6年生	197	93
中学1年生	176	
中学2年生	159	
中学3年生	210	
合計	3,319	1,498



3 健康増進事業

健康増進法に基づき、市民の健康増進の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めるものとされ、市では第2次あま市健康づくり計画・歯と口腔保健計画・食育推進計画を策定し、平成29年度から令和8年度までの10年間、健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を図るとともに介護を要する状態に陥ることを予防し、自立の促進と援助のため、健康づくりに関する事業を実施しています。

新型コロナウイルス感染症禍によりがん検診の受診者数が減少し、令和6年度はがん検診の受診勧奨に新たな手法を取り入れるなどして、令和5年度と比較すると増加傾向にあるものの、がん検診の受診者数はいまだにコロナ禍前の水準には戻っていない状況にあります。

健康づくりに関しては、あらゆる年代での健康増進を目指し、健康マイレージ事業の継続実施や、動画配信の内容を増やし、家庭で出来る健康体操の普及を図ったり、出前講座や保育園での防煙教室など、地域に出向いての健康教育にも積極的に取り組んでいます。

(1) 事業一覧

※太字は新規事業

令和6年12月末現在

NO	事業名	実施時期・回数	対象	事業内容	令和6年度		令和5年度
					実績(人)	年度末見込(人)	実績(人)
1	健康手帳交付	随時	40歳以上	希望者に随時配付	7	10	8
2	健康相談	随時	希望者	電話・面接による健康に関する相談	448	600	349
3	栄養相談	随時	希望者	個別の栄養相談	5	6	3
4	歯科相談	随時	希望者	個別の歯科相談	23	25	6
5	ワクワクからだ教室	36回	40歳以上	3か所 体ほぐしや体操で、骨盤底筋群や自律神経などを整え、筋肉を丈夫にして、転倒や骨折を予防する	429 /27回	570 /36回	388 /36回
6	胃がん検診	個別	6～10月	50歳以上で前年度内視鏡未受診者	944	944	773
		集団	28回	40歳以上で前年度内視鏡未受診者	1,318	1,318	1,370
					1,070	1,070	1,016
7	大腸がん検診	個別	6～10月	40歳以上 便潜血検査	3,879	3,879	3,811
		集団	28回		1,551	1,551	1,423
	がん検診推進事業(クーポン)	集団	5～2月	41歳 便潜血検査	45	65	65
8	肺がん検診	個別	6～10月	胸部レントゲン直接撮影、喀痰検査【50歳以上の喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙指数)が600以上の方で希望者】 (喀痰)：再掲	4,443 (喀痰35)	4,443 (喀痰35)	4,282 (喀痰44)
		集団	28回		1,401 (喀痰15)	1,401 (喀痰15)	1,328 (喀痰16)
9	前立腺がん検診	個別	6～10月	50歳以上男性 P S A 検査(血液検査)	1,749	1,749	1,746
		集団	28回		672	672	572
10	子宮がん検診	個別	6～10月	20歳以上女性 前年度未受診者	1,087	1,087	1,016
		集団	18回	視診、頸部細胞診検査	786	786	735
	がん検診推進事業(クーポン)	個別	6～2月	21歳女性	16	32	32
		集団	18回	視診、頸部細胞診検査	3	3	2

令和6年12月末現在

NO	事業名		実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和6年度		令和5年度
						実績 (人)	年度末見込 (人)	実績 (人)
11	乳がん検診	個別	6～10月	30歳以上 39歳以下 女性	視触診、超音波検査	393	393	372
		集団	27回	40歳以上 女性 前年度 未受診者	マンモグラフィ検査	729	729	685
	がん検診 推進事業 (クーポン)	個別	6～2月	41歳女性	マンモグラフィ検査	42	85	85
		集団	27回			24	24	26
12	肝炎ウイルス 検査	個別	6～10月	41歳以上 70歳以下 で過去に 肝炎検査 を受けた ことがな い方	B型・C型肝炎ウイル ス検査（血液検査）	14	14	20
		集団	33回			25	25	16
	健康増進 事業 (クーポン)	集団	33回	40歳	B型・C型肝炎ウイル ス検査（血液検査）	89	89	65
13	歯と口腔の 健診	集団	9回	18歳以上	歯周疾患・口腔粘膜・ むし歯等の健診 75歳以上には噛める・ むせる等の問診項目の 追加と咀嚼能力や舌機 能の評価	210	210	177
14	30・35歳 健診	集団	3回	30・35歳	身体計測、血圧測定、 検尿、血液検査、内科 診察等	108	108	126
15	すこやか 健診	集団	3回	40歳以上 生活保護 受給者	身体計測、血圧測定、 検尿、血液検査、内科 診察、心電図等	7	7	6
16	骨粗しょう 症検診	集団	4回	20歳以上 70歳以下 女性 前年度 未受診者	骨粗しょう症の早期発 見と予防 踵骨（かかと）の超音 波検査	109	109	101

令和6年12月末現在

NO	事業名	実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和6年度		令和5年度
					実績 (人)	年度末見込 (人)	実績 (人)
17	いきいき体操	145回	希望者	健康増進・体力向上のための体操 1か所 週3回	881 114/回	1,200	1,182
18	乳がん自己検診 法指導	27回	乳がん検 診受診者	乳がん検診受診者への 自己検診法指導	753 /22回	753	714
19	骨粗しょう症 栄養指導	3回	骨粗しょう 症検診 受診者	骨粗しょう症検診の結果、要指導、要精検になった方への栄養指導	48 /3回	48	26
20	ウォーキング あま	9回	希望者	ウォーキングボランティアが作成したウォーキングマップを使用して市内9コースを散策	139 /6回	200 /9回	167 /9回
21	フレイル 予防教室 (一体的事業)	随時	希望団体	保険医療課・高齢福祉課・健康推進課による高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施。フレイル予防教室	18 /1回	18 /1回	46 /2回
22	家庭訪問	随時	希望者 及び 関係機関 から連絡	疾病の治療や自立に向けての相談、支援	17	20	16

NO	事業名	年間予定 実施回数	事業内容	令和6年度		令和5年度
				実績	年度末 見込	実績
23	健康 マ イ レ ー 事 業	6～12月	市民等の自主的な健康づくり活動を支援 【一般コース】市民等を対象に健康づくりにつながる取組を実践したマイレージ（20ポイント）獲得者へ「優待カード」及び抽選で「健康グッズ」等を贈呈 アプリ版（あいち健康プラス）の「リアルウォークコース」に3コースを追加し、全6コースに	1,328人 （内アプリ88人）	1,328人 （内アプリ88人）	1,443人 （内アプリ86人）
			【小中学校コース】児童・生徒・保護者を対象に健康づくりにつながる取組を実践したマイレージ（30ポイント）獲得者の人数に応じて、学校へ交付金を交付	10,629人	10,629人	10,881人
24	出 前 講 座	随時	健康づくり、感染症予防等に関する講話	328人 / 14回	340人 / 15回	315人 /11回
25	Mr. あーまん （動画配信）	通年	働く世代を中心に子どもから高齢者まで家庭で出来る健康体操の配信 動画を新たに3本作成	動画本数 7本	動画本数 8本	動画本数 5本
				視聴回数 1,216回	視聴回数 2,000回	視聴回数 1,861回
26	あ ま 体 操 普 及 啓 発 （啓発及び動画配信）	啓発 随時 動画配信 通年	「ずっとWe Love あま！体操」を市民体操として、あまつり、あまのわ等で啓発	啓発回数 19回	啓発回数 20回	啓発回数 25回
27	健 康 づ く り 応 援 店	通年	野菜摂取量促進メニューの促進、食育・食生活に関する情報の提供、受動喫煙防止への協力を提供していただく店舗を登録し、周知を図る 朝食摂取促進のためのポスター掲示	新規店舗数 0	新規店舗数 1	新規店舗数 5
28	園 児 教 室 防 煙 教 室	15回	市内保育園・幼稚園・認定こども園の年長児を対象に受動喫煙防止の推進を図る	571人 /14園	620人 /15園	744人 /17園
29	活 き 生 き 推 進 支 隊 活 動 支 援	26回	健康づくり計画・歯と口腔保健計画・食育計画の推進するためのサポーターの育成及び活動支援 ・健康に関する勉強会 ・研修の企画 ・計画した活動をする場の提供 ・ボランティアグループ登録支援 ・自主活動に向けた助言指導	20回 役員会 8回 定例会10回 イベント等 周知活動2回	26回 役員会11回 定例会13回 イベント等 周知活動2回	37回 役員会 8回 定例会15回 イベント等 周知活動14回

令和6年12月末現在

NO	事業名	年間予定 実施回数	事業内容	令和6年度		令和5年度
				実績	年度末 見込	実績
30	食育ボランティア アグループ活動 支	35回	地域の健康づくりの食育活動を 推進していくための、ボラン ティアの活動を支援 ・食育活動の企画、実施につい ての助言、調整 ・ボランティアグループ登録支 援	26回 (定例会：16 回、食育活動 に向けた調 整：7回、周 知活動：1 回、ボラン ティア登録支 援：2回)	35回 (定例会： 22回、食育 活動に向け た調整：9 回、周知活 動：2回、ボ ランティア 登録支援：2 回)	34回 (定例会： 22回、食育 活動に向け た調整：6 回、周知活 動：4回、ボ ランティア 登録支援：2回)
31	献 血	2回	赤十字血液センターの献血車に よる献血	114人	114人	110人
32	骨 髄 ド ナ ー 等 助 成 事 業	随時	骨髄提供者（ドナー）が骨髄提 供等に要した通院・入院日数に 応じて助成金を交付するととも に、ドナーが勤務する事業所に ドナーが休業する日数に応じて 助成金を交付	ドナー 1人 事業所 0か所	ドナー 2人 事業所 1か所	ドナー 0人 事業者 0か所
33	が ん 患 者 アピアランスケア 支 援 事 業	随時	がん治療による脱毛や乳房の形 状の変化に対するウィッグや、 乳房補整具の購入費用（購入費 の1/2とし、上限は20,000円） を補助	ウィッグ 16人 乳房補正具 12人	ウィッグ 22人 乳房補正具 16人	ウィッグ 32人 乳房補正具 14人
34	前 期 歯 の 健 康 セ ン タ ー	1回	保護者教室、歯科相談等	52人	52人	-
35	歯 科 表 彰	随時	100歳以上で20本以上自分の歯 がある方を表彰（10020表彰）	0人	1人	1人
		随時	90～99歳で20本以上自分の歯が ある方を表彰（9020表彰）	8人	8人	2人
		随時	80～89歳で20本以上自分の歯が ある方を表彰（8020表彰）	63人	63人	35人
36	低 栄 養 予 防 布 資 料 配 布	随時	出前講座、ワクワクからだ教 室、いきいき体操、一体的事業 （笑って元気スクール）など各 種講座において低栄養予防冊子 を配布・啓発	253人	280人	240人
37	健 口 体 操 布 資 料 配 布	随時	民生委員による65歳以上世帯へ の健口体操の資料配布・啓発	10,448人	10,448人	10,469人
38	健康づくり計 画・歯と口腔 保健計画・食 育推進計画の 推 進	平成29年度から令和8年度までの10年間の期間において、 『市民自ら健康づくりに取り組み、心身ともに健やかで、いき いきと笑顔で暮らせるまちづくり』を基本理念とし、「栄養・食 生活」「身体活動・運動」「こころの健康づくり」「たばこ」「ア ルコール」「健康管理」について、分野別・ライフステージ別 に課題に対する具体的な取り組みを推進。 また、同時に策定した、歯と口腔の健康づくりを推進するた めの「歯と口腔保健計画」、食育を推進するための「食育推 進計画」に示した課題に対しても一体的に取り組む。			参考資料 1	

(2) 個別がん検診

(単位：人)

(単位：人)

種目 \ 結果	異常なし	要経過観察 他疾患	要精密検査	要再検査 判定不能	合計	要精密検査 結果返却数	うち がん発見者数
胃がん検診 (XP)	1,017	206	89	6	1,318	52	2
大腸がん検診	3,522		357		3,879	209	9
肺がん検診	3,768	206	82	387	4,443	55	1
前立腺がん検診	1,609		140		1,749	65	6
子宮がん検診	861	183	27	16	1,087	8	0
〃 クーポン	15	1	0	0	16		
乳がん検診 (マンモ)	629	23	77		729		
〃 クーポン	33	3	6		42	95	3
乳がん検診 (超音波)	278	85	30		393		

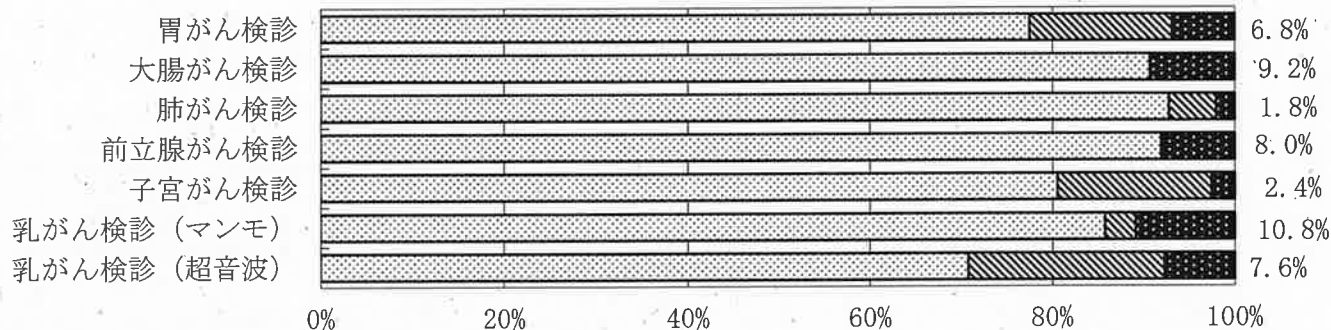
	次回検診	再検査	要治療	合計
胃がん検診 (内視鏡)	922	12	10	944

令和6年度 要精密検査率

□異常なし

■要経過観察…

■要精密検査

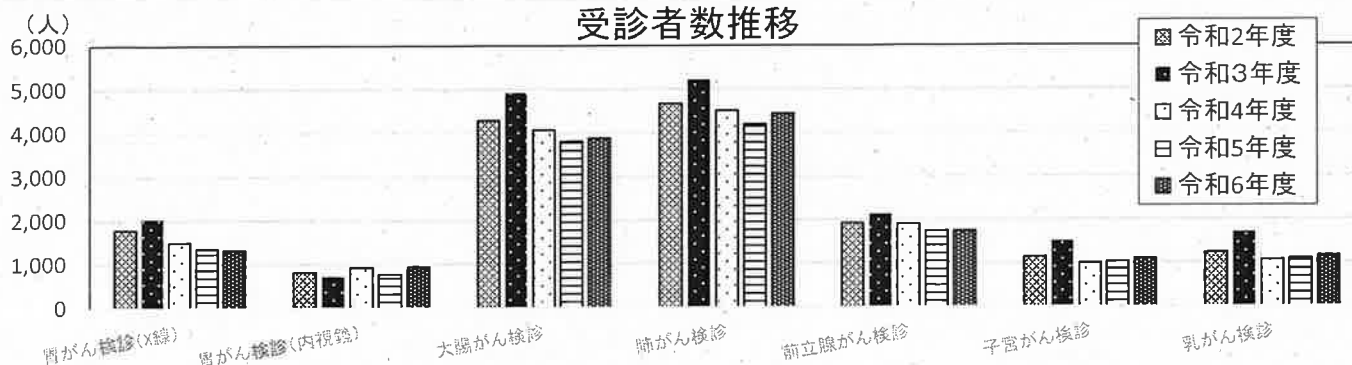


《受診者数の比較》

(単位：人)

種目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
胃がん検診 (XP)	1,788	2,040	1,501	1,350	1,318
〃 (内視鏡)	823	719	926	770	944
大腸がん検診	4,288	4,922	4,071	3,806	3,879
肺がん検診	4,666	5,213	4,510	4,282	4,443
喀痰 (再掲)	53	60	46	44	35
前立腺がん検診	1,926	2,129	1,907	1,746	1,749
子宮がん検診	1,107	1,443	966	1,016	1,087
〃 クーポン	38	62	29	15	16
乳がん検診 (マンモ)	694	1,054	586	685	729
〃 クーポン	86	139	72	42	42
乳がん検診 (超音波)	455	509	408	372	393

受診者数推移



(3) 集団がん検診

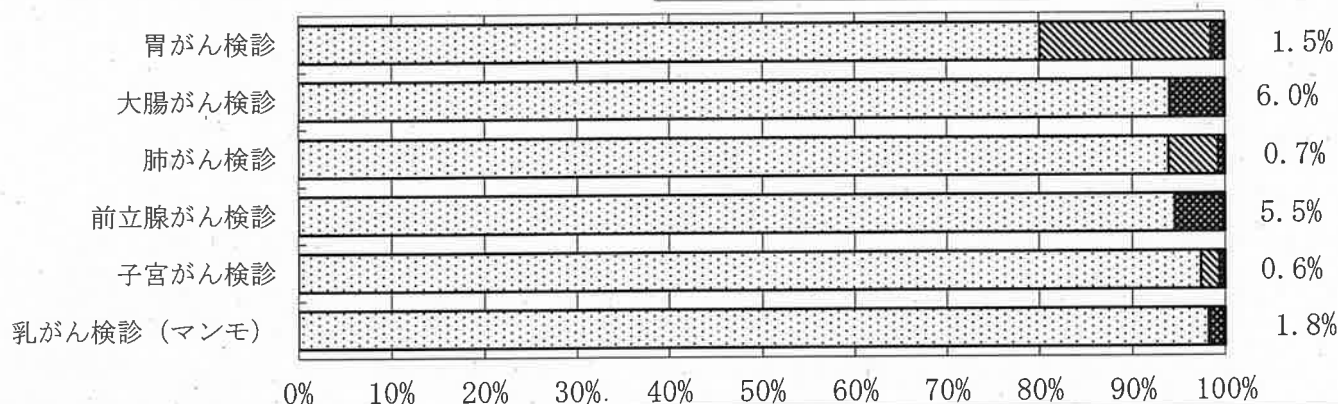
(単位：人)

(単位：人)

種目 \ 結果	異常なし	要経過観察 他疾患	要精密検査	再検査 判定不能	合計	要精密検査 結果返却数	うち がん発見者数
胃がん検診	857	197	16	0	1,070	13	1
大腸がん検診	1,500		96		1,596	52	3
肺がん検診	1,315	76	10	0	1,401	8	0
前立腺がん検診	639		37		676	23	3
子宮がん検診	768	16	5	0	789	2	0
乳がん検診(マンモ)	802	0	15	0	817	11	3

令和6年度要精密検査率

□異常なし ■要経過観察他疾患 ■要精密検査



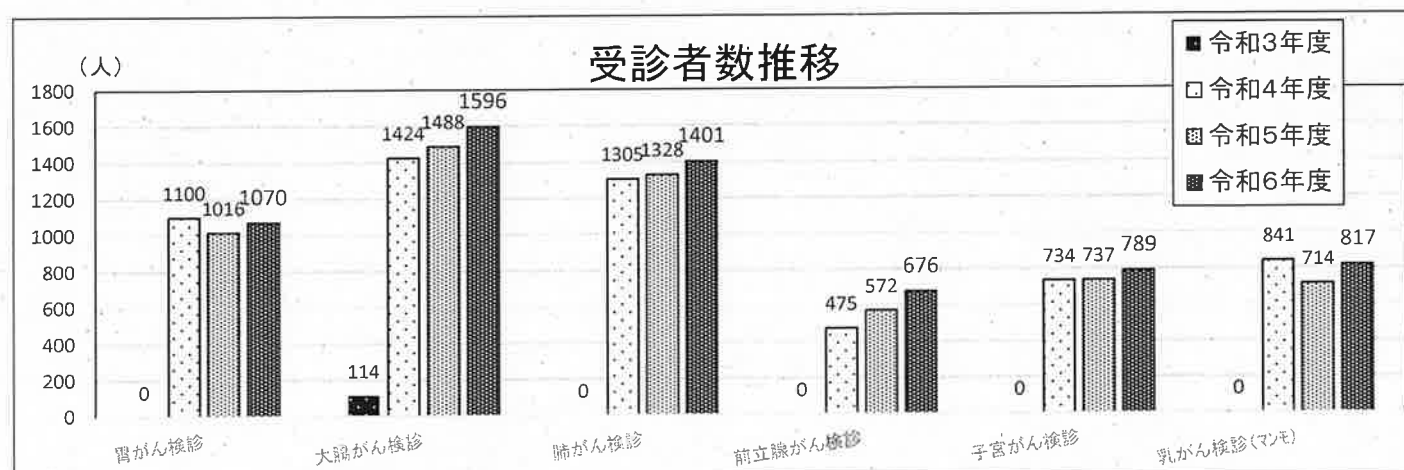
《受診者の比較》

(単位：人)

種目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
胃がん検診	0	0	1,100	1,016	1,070
大腸がん検診	0	114	1,424	1,488	1,596
肺がん検診	0	0	1,305	1,328	1,401
喀痰(再掲)	0	0	23	16	15
前立腺がん検診	0	0	475	572	676
子宮がん検診	0	0	734	737	789
乳がん検診(マンモ)	0	0	841	714	817

※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止及びワクチン接種のため集団がん検診は一部を除き中止

受診者数推移



(4) 検診別実績等の詳細

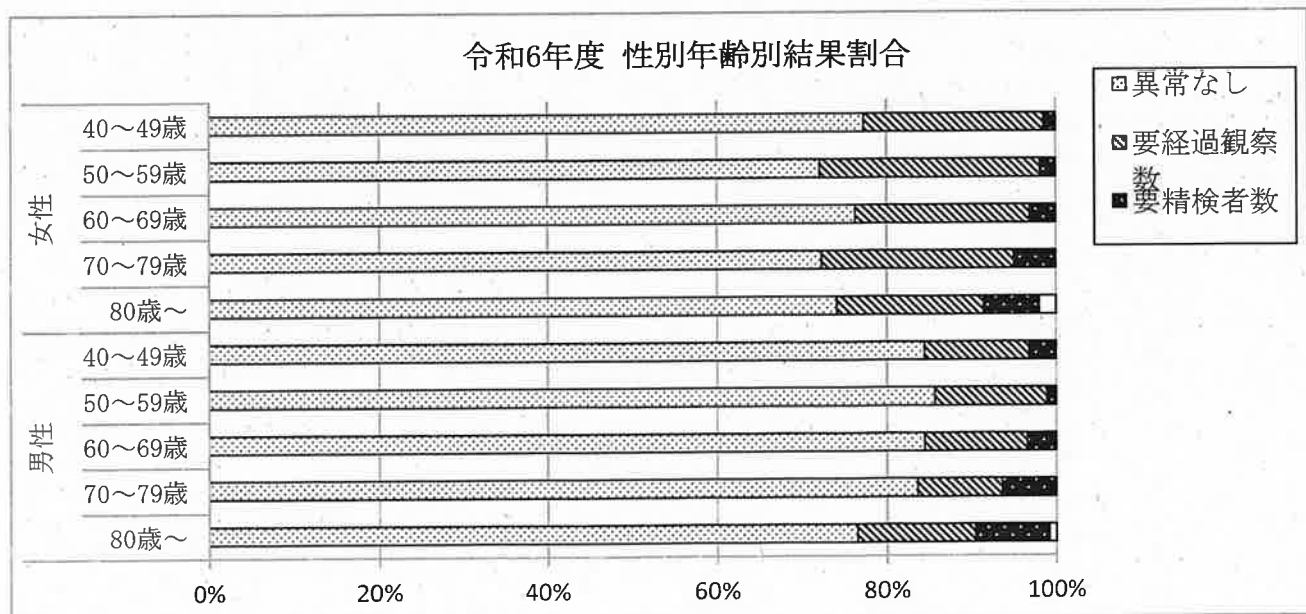
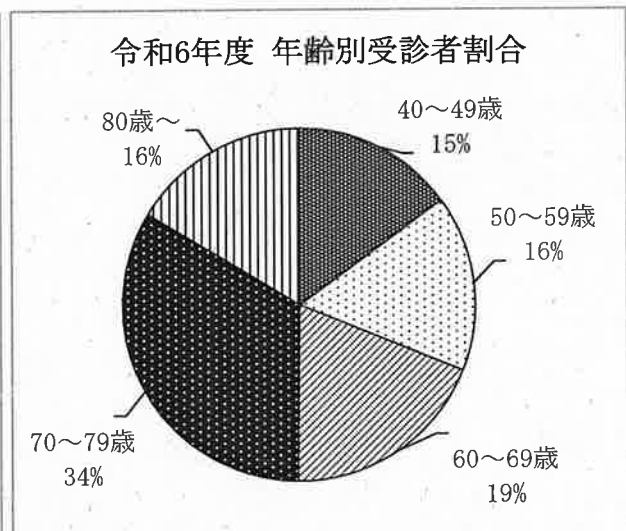
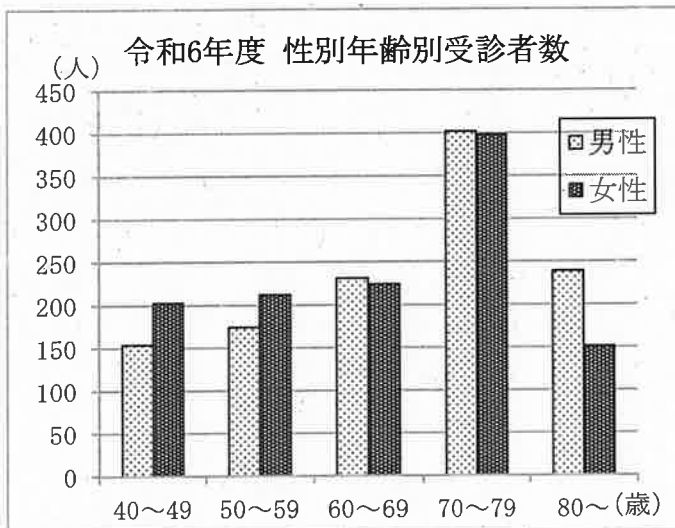
①胃がん検診

令和6年12月末現在

(単位：人)

バリウム検査

結果 \ 年齢		40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	がん発見者数	
集団医療機関	男性	受診者数	78	97	127	177	79	558	1
		要経過観察数	13	19	15	18	8	73	
		要精検者数	0	0	1	4	1	6	
		判定不能	0	0	0	0	0	0	
	女性	受診者数	117	114	113	137	31	512	
		要経過観察数	31	33	21	34	5	124	
		要精検者数	2	2	3	1	2	10	
		判定不能	0	0	0	0	0	0	
医療機関	男性	受診者数	76	77	104	225	160	642	1
		要経過観察数	6	4	13	22	25	70	
		要精検者数	5	2	7	22	20	56	
		判定不能	0	0	0	0	2	2	
	女性	受診者数	86	98	111	261	120	676	
		要経過観察数	12	22	25	56	21	136	
		要精検者数	1	2	4	18	8	33	
		判定不能	0	0	0	1	3	4	



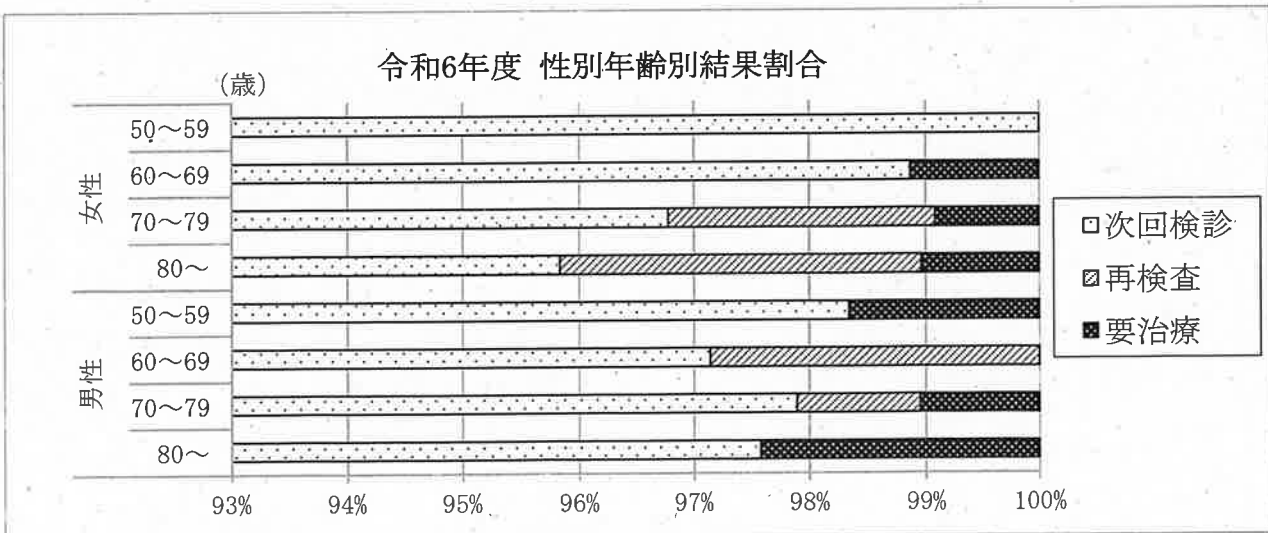
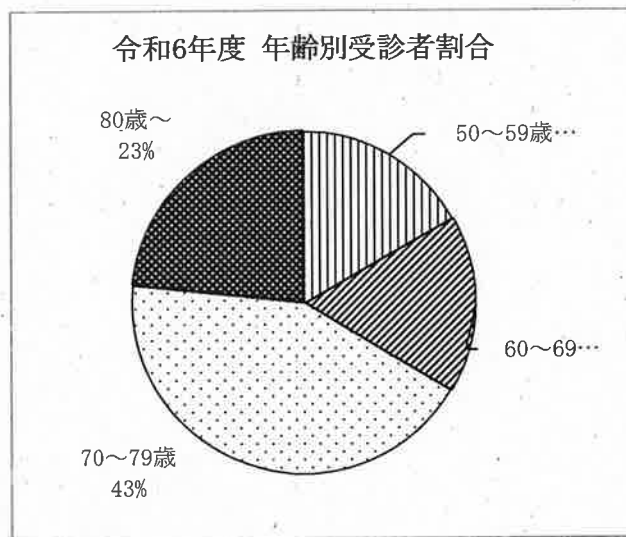
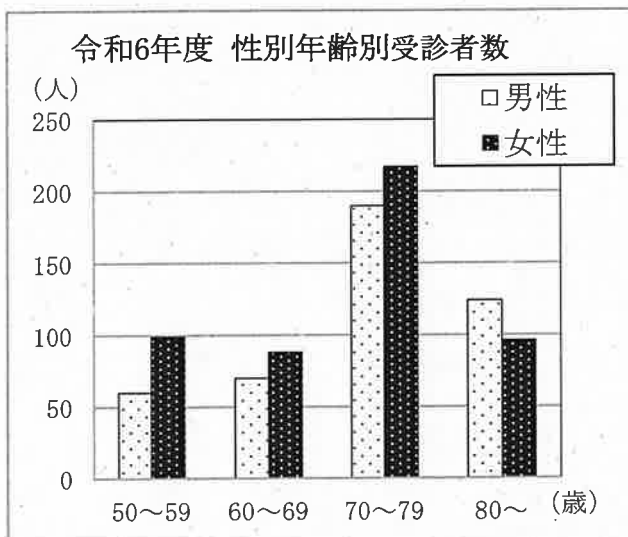
令和6年12月末現在

(単位：人)

内視鏡検査

結果 \ 年齢		50～59	60～69	70～79	80～	合計
男性	受診者数	60	70	190	124	444
	再検査	0	2	2	0	4
	要治療	1	0	2	3	6
女性	受診者数	99	88	217	96	500
	再検査	0	0	5	3	8
	要治療	0	1	2	1	4

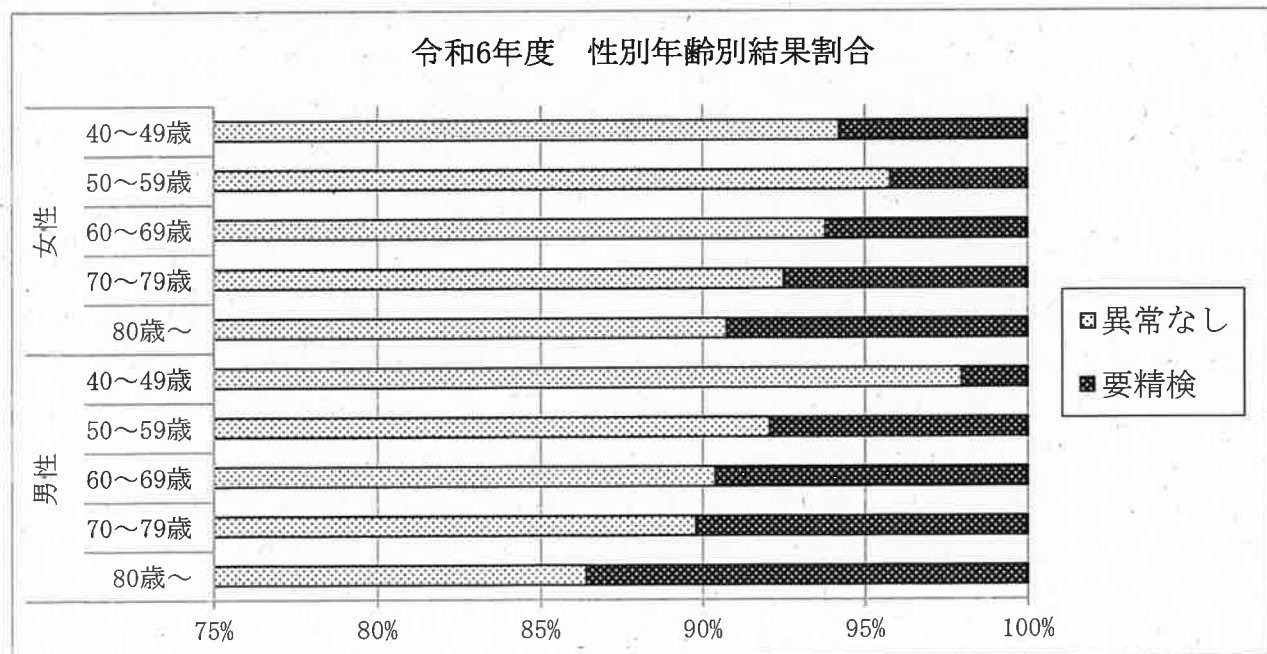
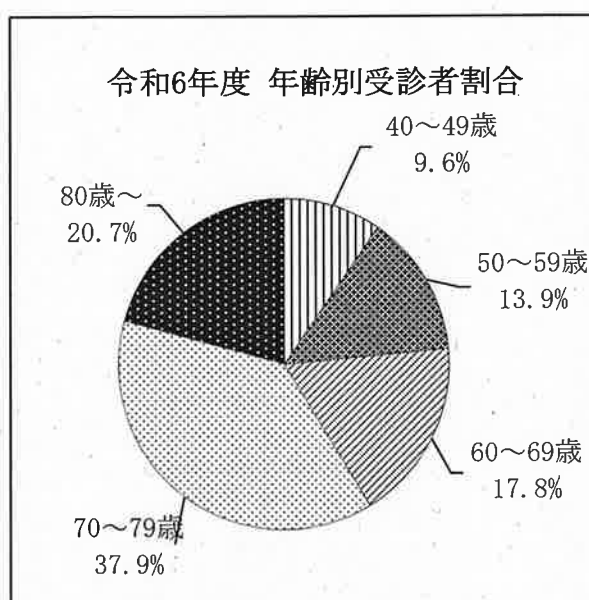
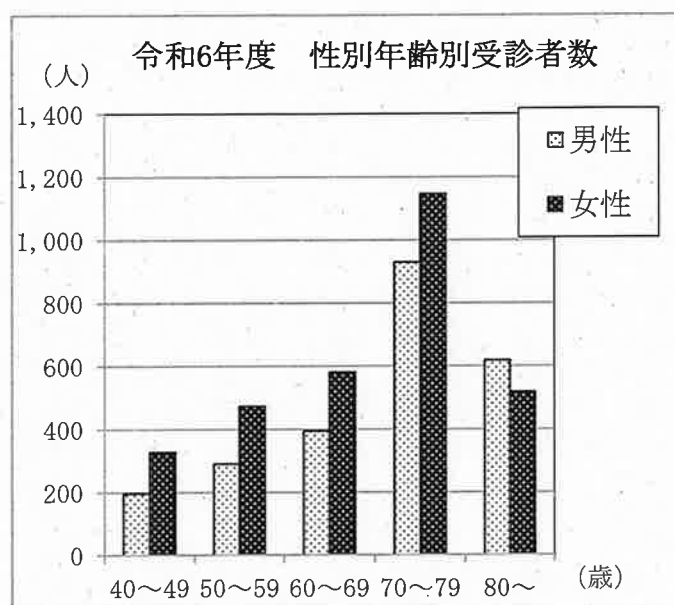
総合判定	判定	人数
再検査	① 胃がんなし	3
	② 胃がん疑い	8
	③ 胃がんあり	0
	④ 胃がん以外の悪性腫瘍	1
要治療	① 胃がんなし	5
	② 胃がん疑い	0
	③ 胃がんあり	3
	④ 胃がん以外の悪性腫瘍	2



②大腸がん検診

令和6年12月末現在
(単位：人)

結果\年齢		40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	がん発見者数	
集団	男性	受診者数	99	124	158	222	108	711	3
		要精検者数	0	8	12	16	9	45	
	女性	受診者数	189	208	205	217	66	885	
		要精検者数	10	14	9	14	4	51	
医療機関	男性	受診者数	98	166	237	708	510	1,719	9
		要精検者数	4	15	26	79	75	199	
	女性	受診者数	139	265	375	929	452	2,160	
		要精検者数	9	6	27	72	44	158	

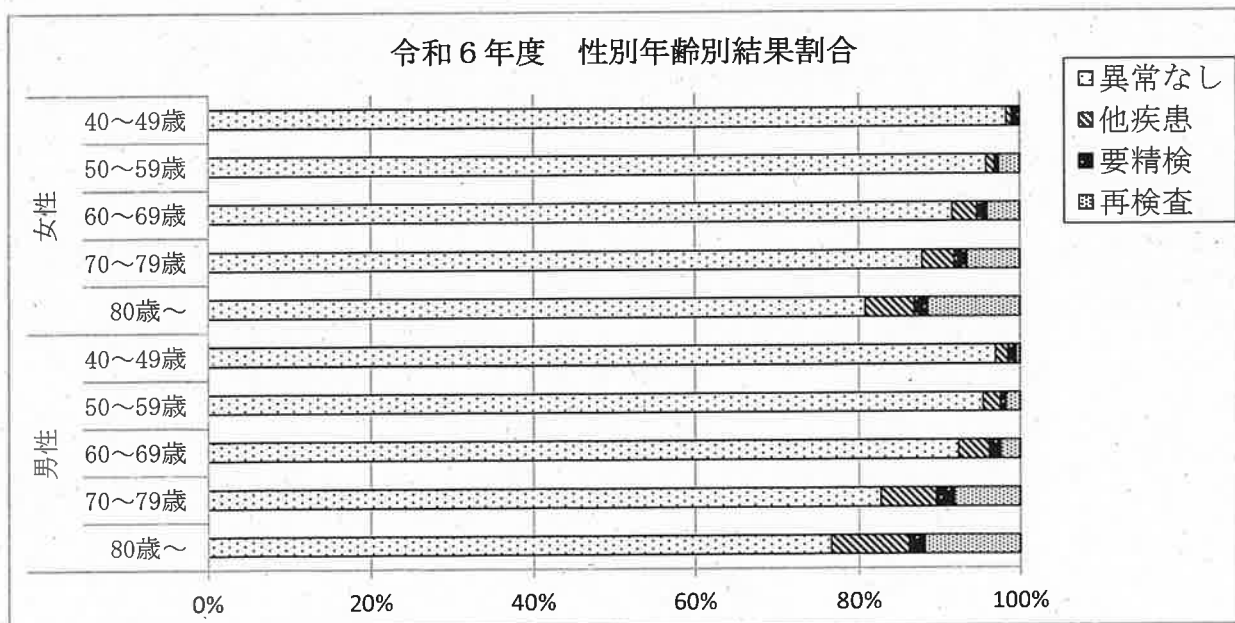
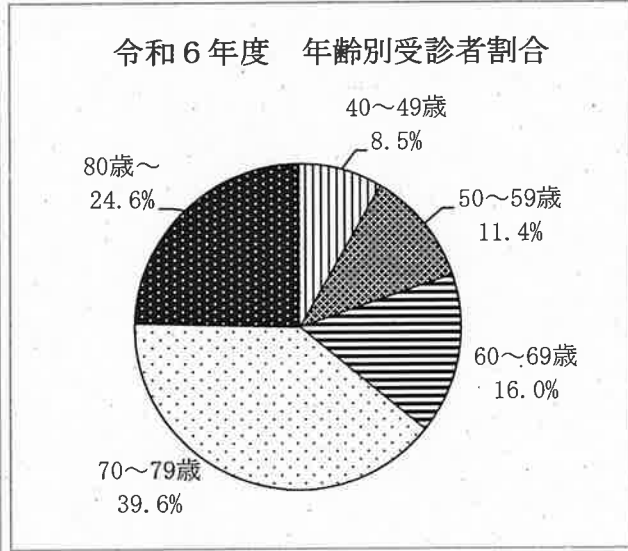
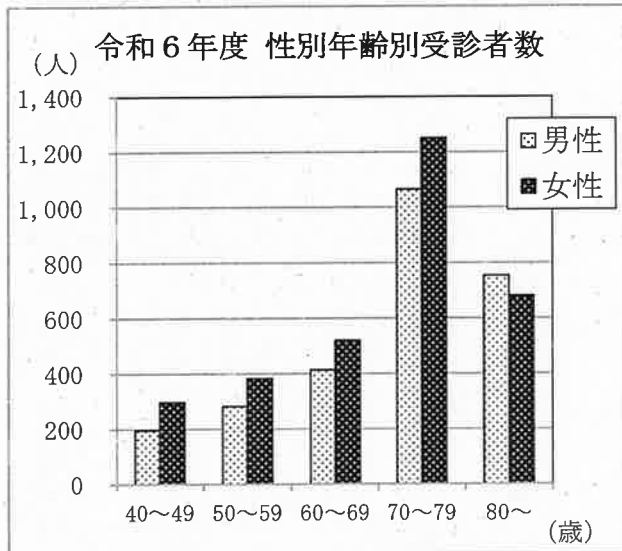


③肺がん検診

令和6年12月末現在

(単位：人)

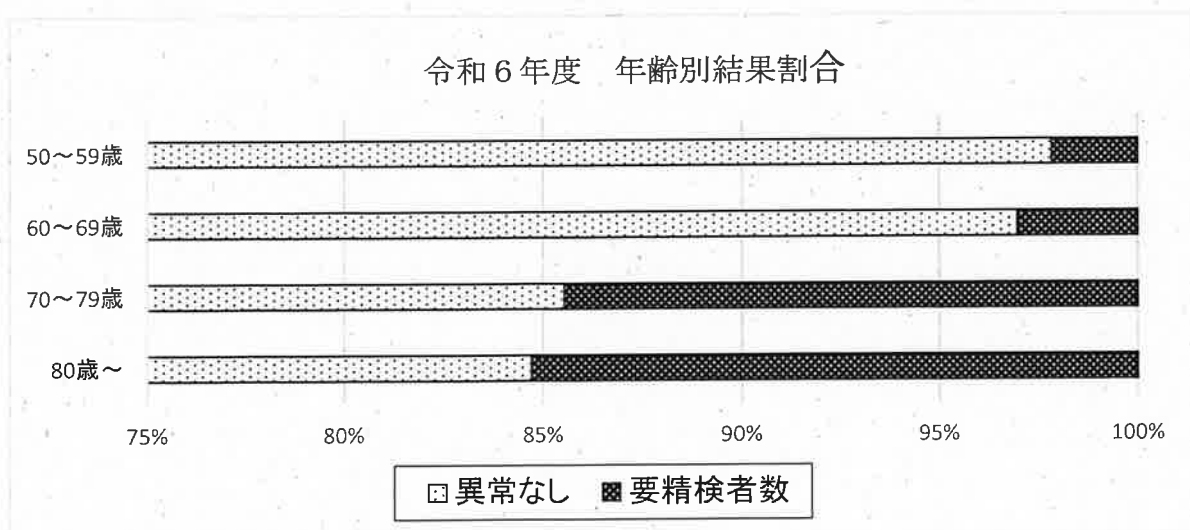
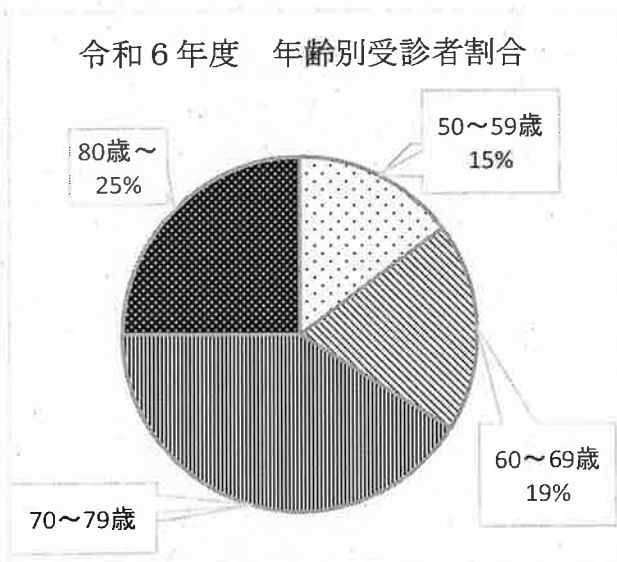
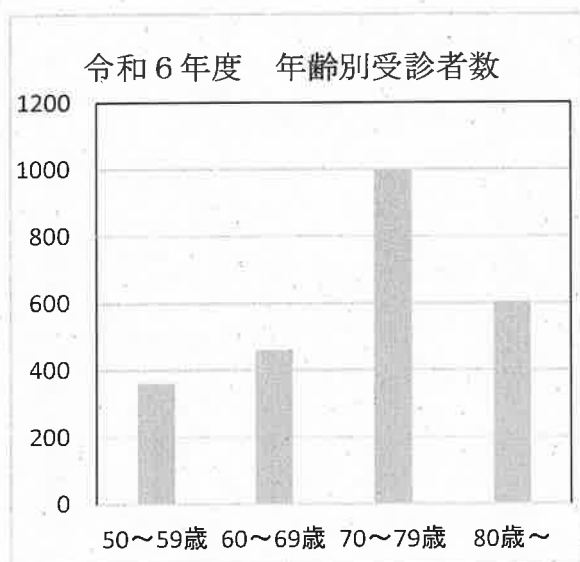
結果 \ 年齢			40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	がん発見者数
集団	男性	受診者数	93	115	151	228	111	698	0
		他疾患	3	6	8	19	12	48	
		要精検者数	1	0	0	1	0	2	
	女性	受診者数	147	148	156	193	59	703	
		他疾患	1	4	6	7	10	28	
		要精検者数	2	0	1	5	0	8	
医療機関	男性	受診者数	104	167	263	838	643	2,015	1
		他疾患	0	0	8	54	59	121	
		再検査	1	5	10	88	90	194	
		要精検者数	1	2	6	23	15	47	
	女性	受診者数	150	235	364	1,057	622	2,428	
		他疾患	1	0	10	43	31	85	
		再検査	0	10	21	83	79	193	
		要精検者数	1	2	6	15	11	35	



④前立腺がん検診

令和6年12月末現在
(単位：人)

結果 \ 年齢		50～59	60～69	70～79	80～	合計	がん発見者数
集 団	受診者数	169	185	225	97	676	3
	要精検者数	7	7	16	7	37	
個 別	受診者数	192	276	774	507	1,749	6
	要精検者数	5	22	57	56	140	

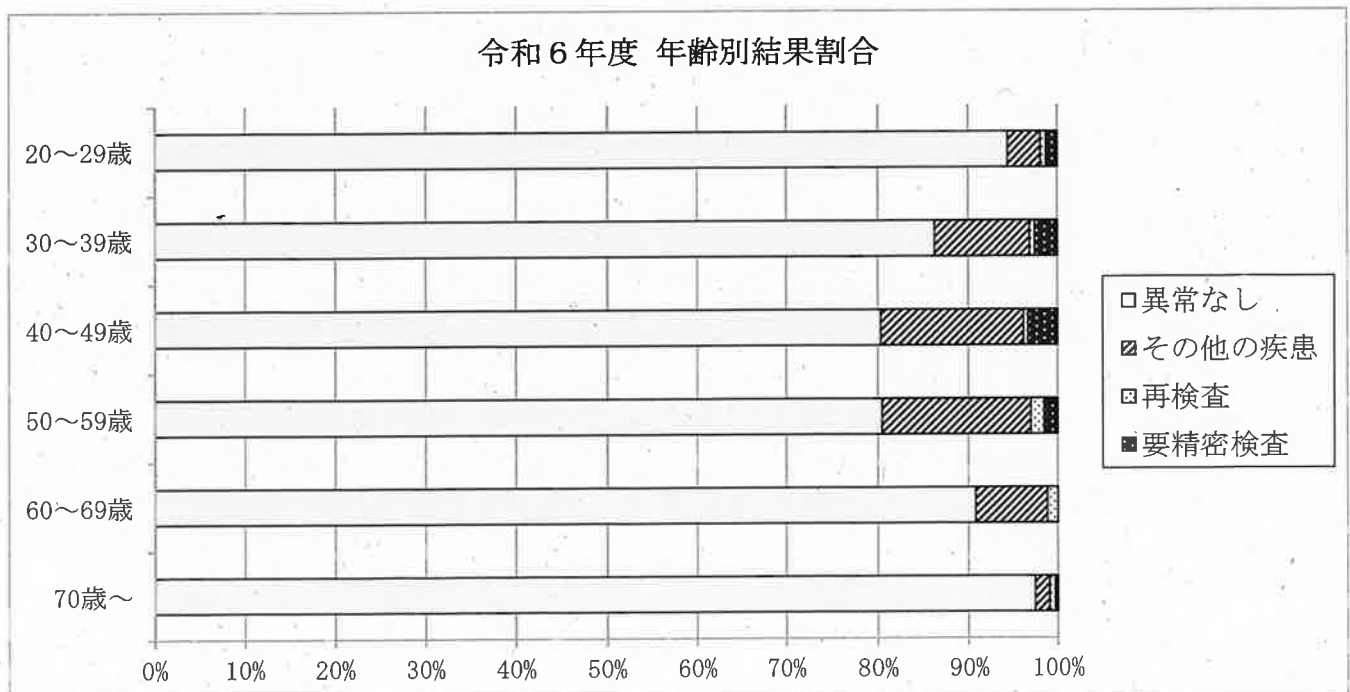
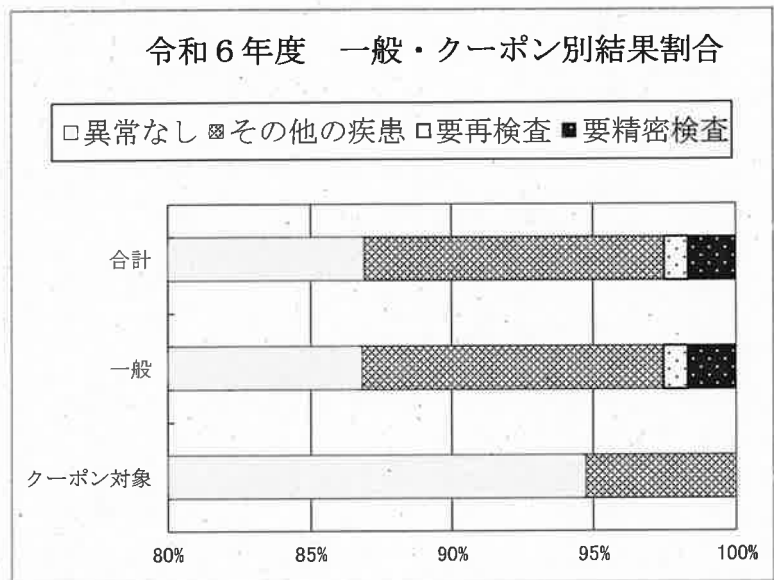
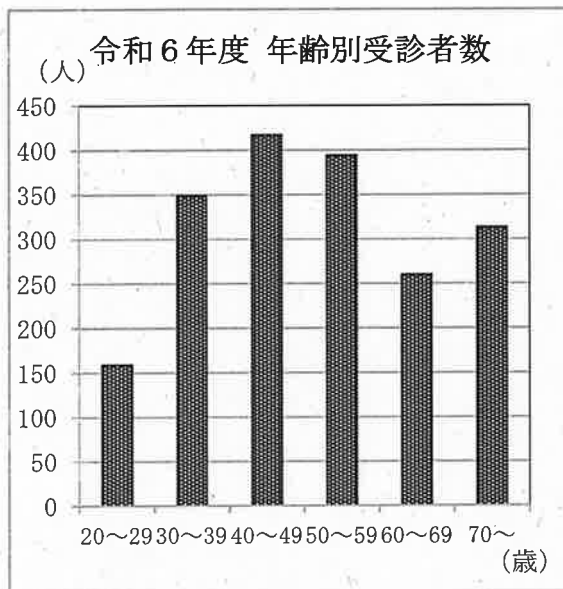


⑤子宮がん検診

令和6年12月末現在

(単位：人)

結果 \ 年齢		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	合計	がん発見者数
集団	受診者数	52	85	164	160	135	193	789	0
	その他の疾患	0	1	4	9	2	0	16	
	要再検査	0	0	0	0	0	0	0	
	要精検者数	0	1	2	1	0	1	5	
医療機関	受診者数	107	264	253	234	125	120	1,103	0
	その他の疾患	6	36	62	56	19	5	184	
	要再検査	1	2	2	6	3	2	16	
	要精検者数	2	8	12	5	0	0	27	



⑥乳がん検診

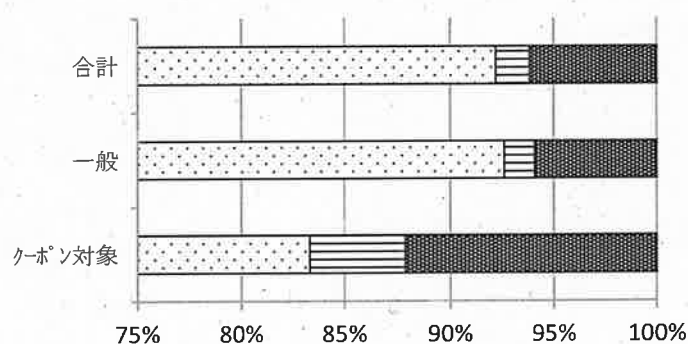
令和6年12月末現在

(単位：人)

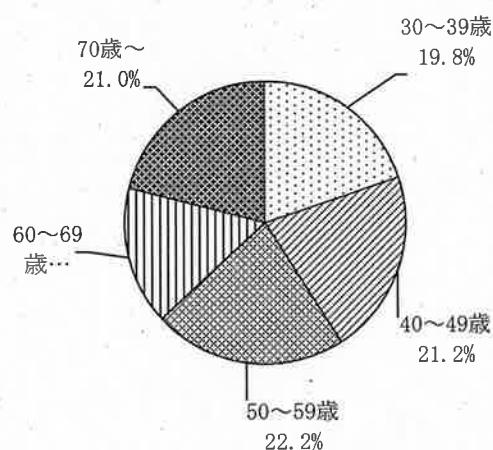
結果 \ 年齢			30～39	40～49	50～59	60～69	70～	合計	がん発見者数
マンモグラフィ	集団	受診者数		183	209	175	250	817	3
		要経過観察		0	0	0	0	0	
		要精検者数		6	5	2	2	15	
	医療機関	受診者数		237	230	138	166	771	3
		要経過観察		10	9	3	4	26	
		要精検者数		31	26	10	16	83	
超音波	医療機関	受診者数	393					393	0
		要経過観察	85					85	
		要精検者数	30					30	

令和6年度 一般・クーポン別結果別割合（マモ）

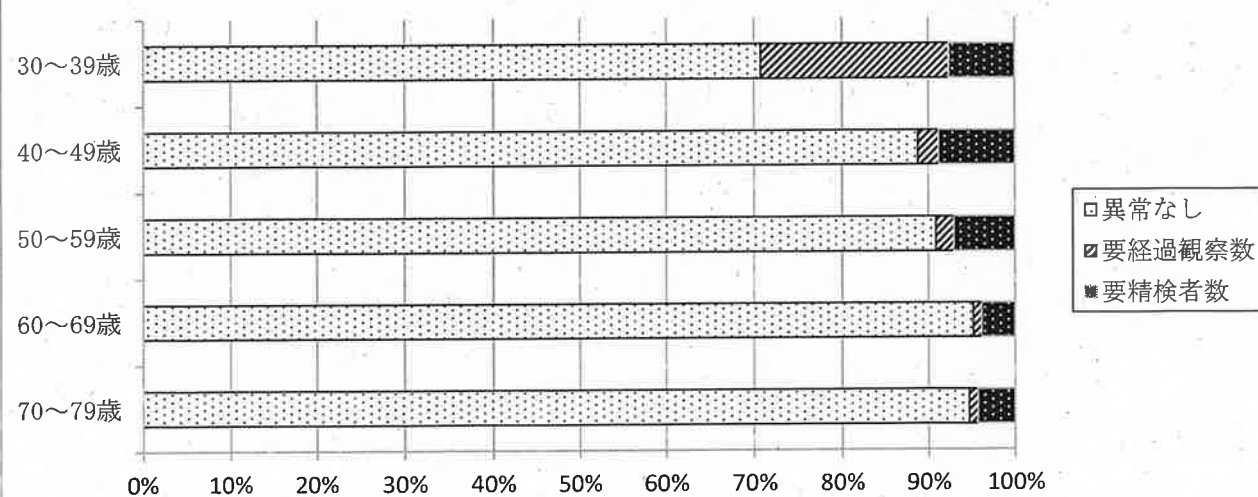
□異常なし □要観察 ■要精検者数



令和6年度 年齢別受診者割合



令和6年度 年齢別結果割合

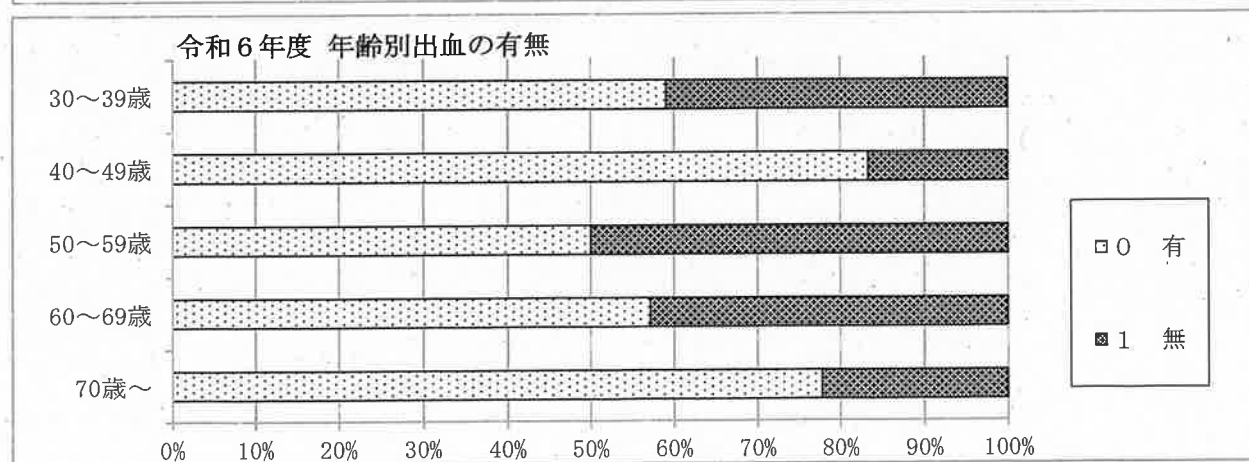
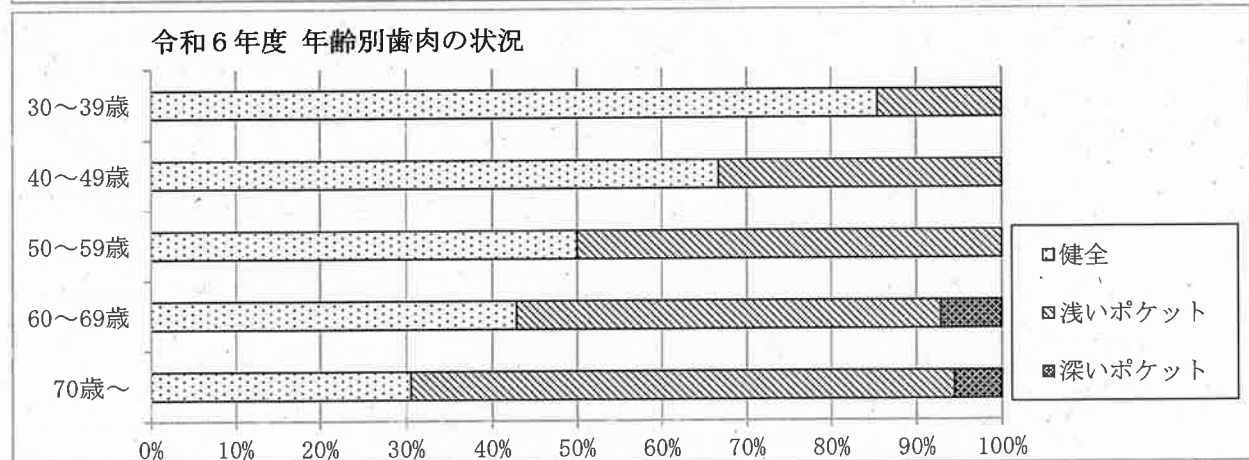
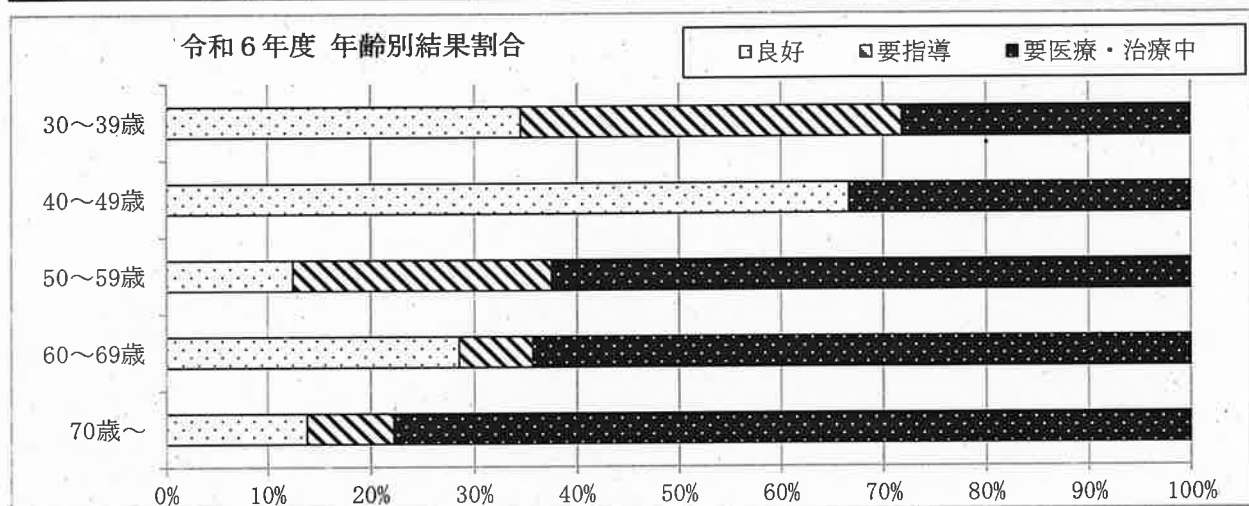


⑦歯と口腔の健診

令和6年12月末現在

(単位：人)

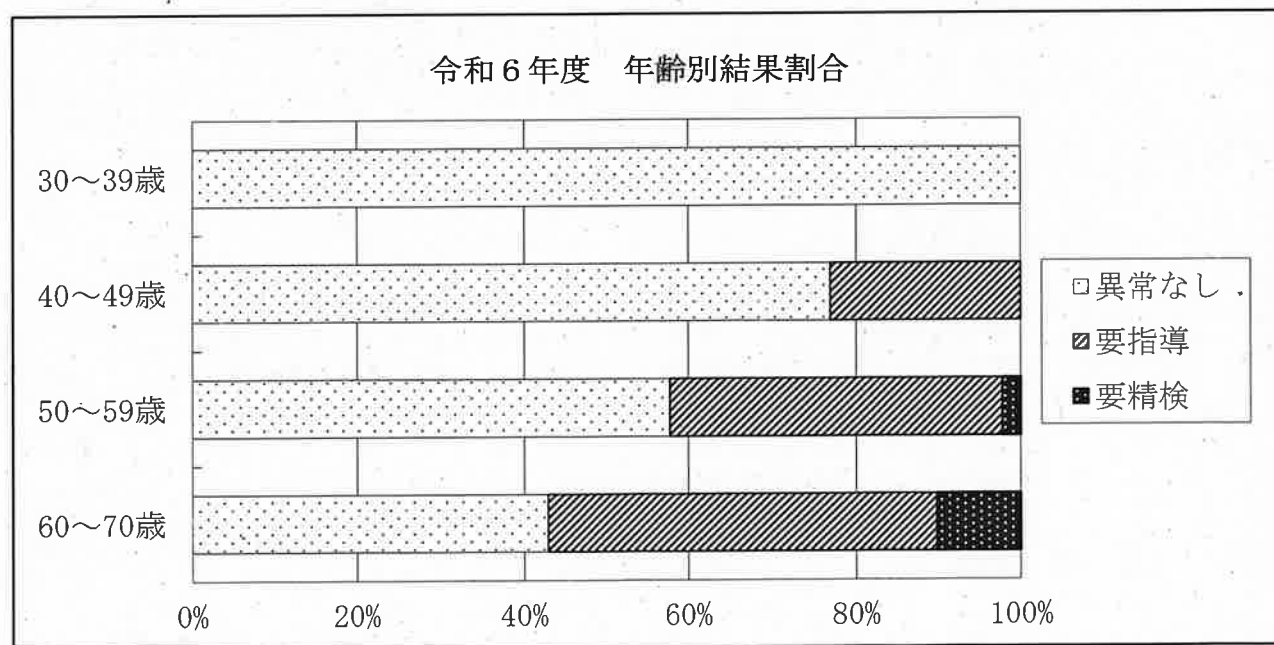
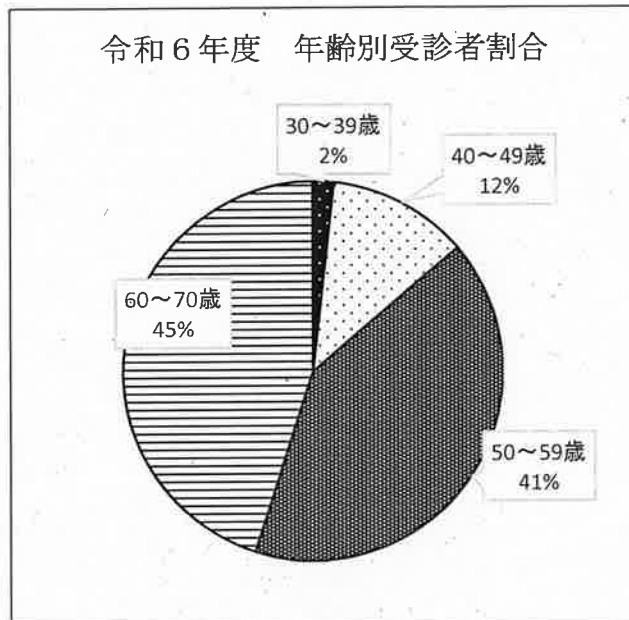
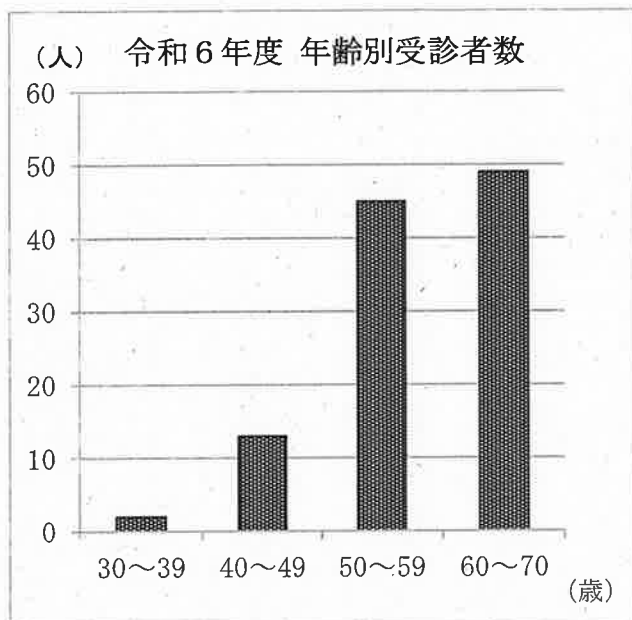
結果 \ 年齢			30～39	40～49	50～59	60～69	70～	合計
集 団	男性	受診者数	37	1	1	6	32	77
		良　　好	9	1	0	2	4	16
		要　指　導	16	0	0	0	2	18
		要医療・ 治療中	12	0	1	4	26	43
	女性	受診者数	73	5	7	8	40	133
		良　　好	29	3	1	2	6	41
		要　指　導	25	0	2	1	4	32
		要医療・ 治療中	19	2	4	5	30	60



⑧骨粗しょう症検診

令和6年12月末現在
(単位：人)

結果 \ 年齢		20～29	30～39	40～49	50～59	60～70	合計
集団	受診者数	0	2	13	45	49	109
	異常なし	0	2	10	26	21	59
	要指導	0	0	3	18	23	44
	要精密検査	0	0	0	1	5	6



4 自殺対策事業

平成28年の自殺対策基本法の改正により、自殺対策の新たな位置づけが「生きることの包括的な支援」となり、地方自治体に自殺を防ぐための計画策定が義務付けられ、平成30年度から令和9年度までの10年間の期間とした「あま市自殺対策計画」を策定し取り組んでいます。

令和6年度は、これまでどおり、自殺防止のための正しい知識などの「普及啓発事業」及び悩んでいる人に気づいて声をかけることができる人材を養成するための「ゲートキーパー養成講座」を推進しました。

普及啓発事業では、より多くの方に理解と協力、そして、意識をしていただくため、相談窓口リーフレットを市内全戸に配布しました。

人材育成では、「ゲートキーパー養成講座」を受講した方に対して、知識の再確認と向上を目指した、フォローアップ講座（研修）を実施するとともに、これまでどおり、新たな人材を育成するための「ゲートキーパー養成講座」を学校関係者（PTA、学校保健委員会）に対して行うとともに、学校との連携強化を図り、こころの健康づくりについても取り組み始めました。

(1) 事業一覧

※太字は新規事業

令和6年12月末現在

NO	事業名	年間予定 実施回数	事業内容		令和6年度		令和5年度
					実績	年度末見込	実績
1	あま市自殺対策ネットワーク会議	1回	関係機関及び団体と連携し、自殺対策を総合的かつ効果的に推進する		1回	1回	1回
2	あま市自殺対策推進本部	1回	計画の進捗管理及び施策の調整等を行う	本部・幹事会	1回	1回	1回
		随時		部会	ヒアリング	ヒアリング	ヒアリング
3	自殺防止普及啓発	通年	自殺防止パンフレット配布 (サロン・あまつり・あまのわ・はたちの式・ゲートキーパー養成講座) ゲートキーパーリボン (ゲートキーパー養成講座受講者) 自殺予防週間・自殺対策強化月間街頭啓発 相談窓口リーフレットの設置 (市役所関係各課・市内医療機関・調剤薬局) 相談窓口リーフレットの全戸配布 広報あま(9・11・3月) 市公式ウェブサイト、市公式LINE等(定期配信) 学校保健委員会(睡眠について) 図書館において、こころの健康について啓発		39,317人	42,600人	3,777人
4	ゲートキーパー養成講座(研修)	3回	自殺対策に係る人材の養成のための基本講座 PTA・学校保健委員会 一般市民 市役所新規採用職員 フォローアップ講座 民生委員児童委員		175人 /10回	500人	76人 /3回
		6月～3月	eラーニング研修 市役所職員(新規採用職員以外)		308人		
5	あま安心ダイヤル	通年	24時間電話による健康相談・こころの相談(再掲:こころの相談)		882人 (431人)	1,000人	838人 (435人)
6	精神保健相談会	3回	精神科医師による個別相談		4人/2回	5人/3回	5人/3回
7	こころの相談室	随時	心理士(公認心理師)による個別相談		2人	3人	3人